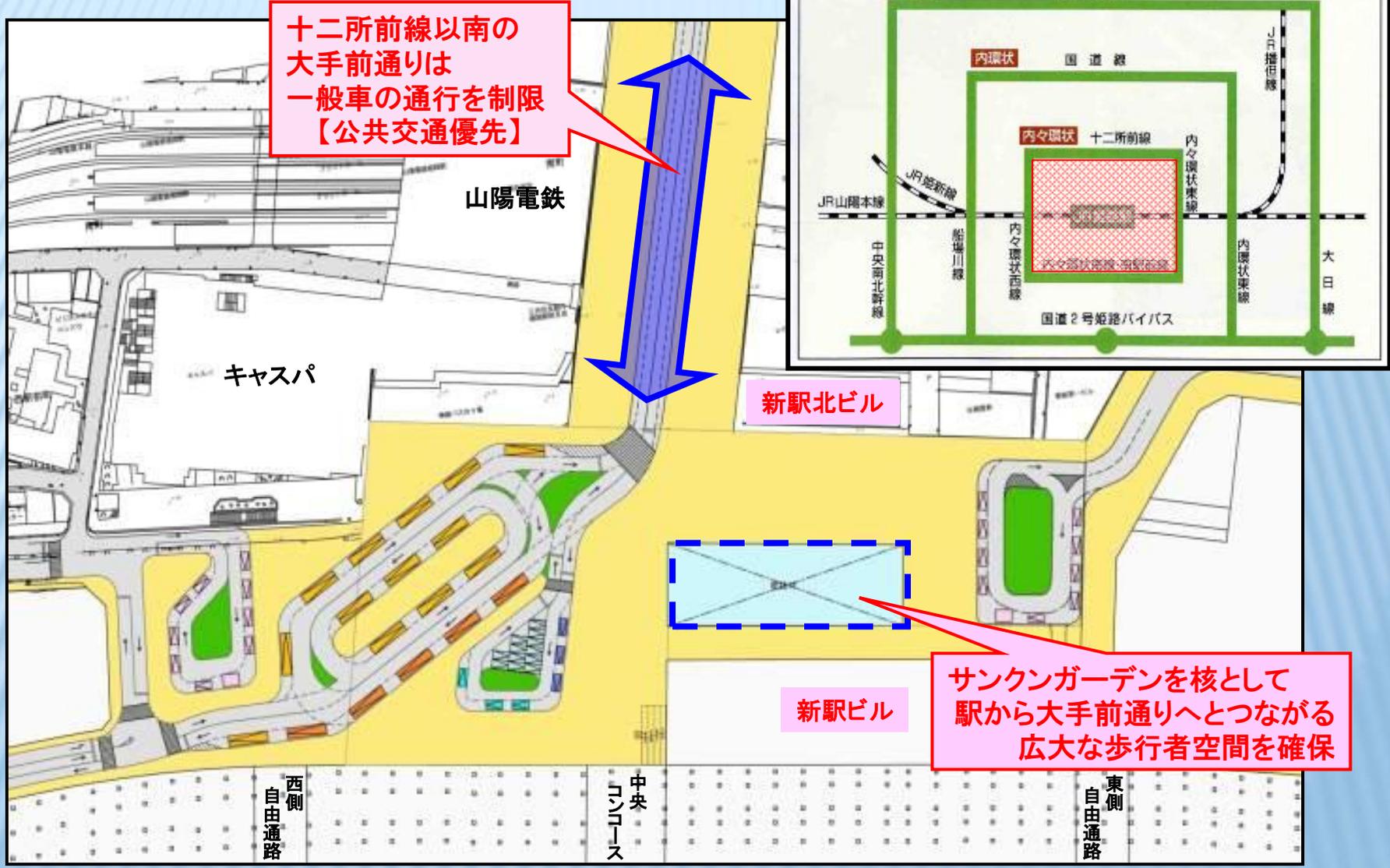


# 姫路駅北駅前広場基本設計について

平成22年3月23日

# 基本レイアウトの特徴

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

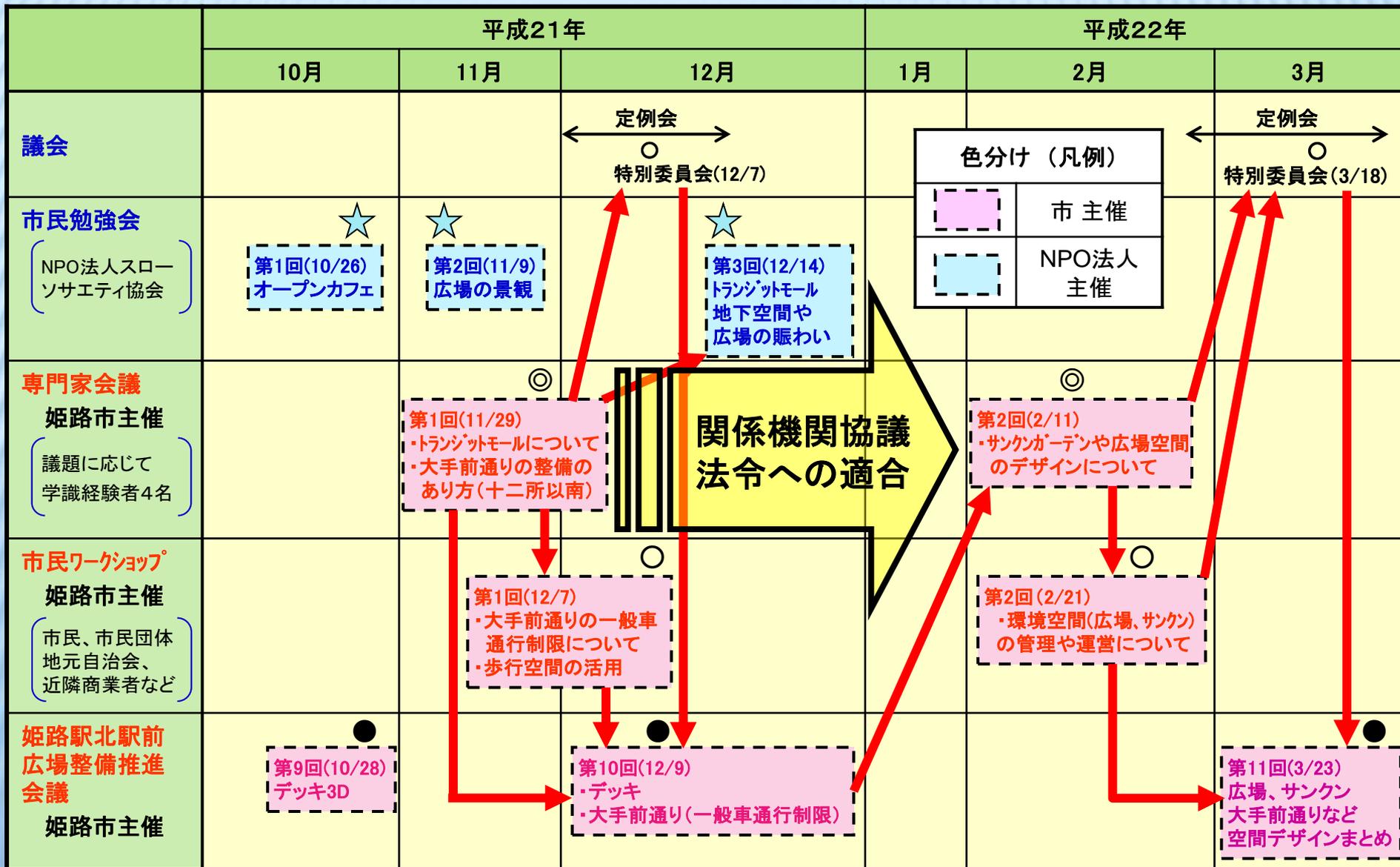


この図面は、施設のレイアウトを決めるために、イメージしやすいように作成したものです。  
今後、交通事業者や公安委員会など関係機関との協議により、変更になる場合があります。

# 姫路駅北駅前広場基本設計

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆姫路駅北駅前広場基本設計スケジュール



# 第1章

## 第1回専門家会議と市民ワークショップについて

## 「姫路の顔づくり」を考える専門家会議 ～姫路駅北駅前広場整備と大手前通りの道路空間のあり方について～

### ●開催概要

日時：平成21年11月29日（日）15時～18時半  
場所：七福座（西二階町コミュニティーホール）

### ●参加者

- 小林正美（景観デザイン）明治大学 \*コーディネーター
- 倉田直道（都市デザイン）工学院大学
- 中井検裕（社会システム）東京工業大学
- 松本 滋（地域計画）兵庫県立大学
- 森本章倫（交通計画）宇都宮大学

### ●プログラム（予定）

- （13時半～ まち歩き）
- 15時～ ワークショップ①：経緯の説明
- 15時半～ ワークショップ②：ディスカッション
- 17時半～ まとめ

姫路駅北駅前広場整備と大手前通りの道路空間のあり方について

## 「姫路の顔づくり」を考える 専門家会議（公開）

姫路駅北駅前広場は、大手前通りを介して世界文化遺産姫路城を望む位置にあります。姫路市では、姫路駅を中心とした環状道路網を形成することで中心部の交通渋滞解消を図るとともに、特に内々環状線内は歩行者を優先したまちづくりを目指しています。その中心となる姫路駅北駅前広場の整備にあたっては、市民の皆様からのご意見、ご提案をふまえ、十二所前線以南の大手前通りは一般車の通行を制限する方向で計画を進めています。そこで、広場の整備と大手前通りの道路空間の在り方について、景観や都市デザイン、交通計画などの専門家に集まっていただき、市民の皆様と一緒に公開の場で議論します。

**見学  
無料**

参加専門家（アイクエオ職）

-  明治大学教授  
小林正美（景観デザイン）  
\*コーディネーター
-  工学院大学准教授  
倉田直道（都市デザイン）
-  東京工業大学准教授  
中井検裕（社会システム）
-  兵庫県立大学教授  
松本 滋（地域計画）
-  宇都宮大学准教授  
森本章倫（交通計画）

開催日 平成21年 11月29日（日）  
15:00～18:30

場 所 西二階町  
コミュニティーホール  
「七福座」  
姫路市西二階町商店街内

スケジュール

- ▶ 15:00～ ワークショップ① 経緯の説明
- ▶ 15:30～ ワークショップ② ディスカッション
- ▶ 17:30～ まとめ

【参加は姫路市庁舎内で行います。】

主催 / 姫路市姫路駅周辺整備室  
事務局・お問合せ先 / 姫路市姫路駅周辺整備室  
TEL : 079-221-2159  
E-mail : ekishuhen@city.himeji.lhyogo.jp

11月29日（日）七福座にて開催

## ◆駅前広場（多目的広場）の利用とデザインの方向性

### 【広場計画の全体について】

- 大スケールの一体性と分節によるヒューマンスケールの創出
- 通路空間と滞留空間の明確化
- 多様なイベントに対応しうるフレキシビリティの確保
- 城への眺望と景観要素のバランス
- デザイン協議と賑わいの創出

### 【サンクンガーデン西側広場について】

- 通路機能と滞留機能の明確化
- 多様な設えに対応しうる玄関広場

### 【サンクンガーデン北側広場とサンクンガーデンについて】

- 一体的なデザインの重要性
- 季節感や風情を感じさせる空間を創出する
- 運用方法やソフト面については、綿密な準備が必要である。

### 【デッキのデザインについて】

- 眺望機能と通路機能の分化

### 【姫路らしさの表現】

- 建物外観等をすべて「姫路城」に関連付けるような方法は絶対避けた方がいい。  
地域の特徴を抽象化した洗練されたデザインが求められる。



## ◆大手前通り十二所前線以南部分の歩車道配分の比較評価

	A	B-1	B-2	B-3, 4	
眺望	× 城への眺望を考えると植栽が植えられない	△ 歩道のエッジでぎりぎり城が眺望できる	○ 城への眺望は良	× 城への軸性と曲線がなじまない	
乱横断	× バスの交通量が多いので、中央のゾーンに入った人が出られない	× 交通量が多いので不適	× 交通量が多いので不適	× 交通量が多いので不適	
白銀交差点	○ 車道の連続性はよい × 歩道が連続していない	○ 車道の連続性がある	△ 車道の連続性がないが、それほど問題はない	○ 車道の連続性がある	
交通拡張性	△ 拡張性がある	○ 拡張性がある	○ 拡張性がある	× 拡張性に乏しい	
自転車	○ 自転車スペースを考慮する必要がある	○ 自転車スペースを考慮する必要がある	○ 自転車スペースを考慮する必要がある	× 自転車スペースは作りにくい	
植栽	× 眺望のため、高木は植えられない	○ 3列植栽が可能	○ 3列植栽が可能	× 並木は作りにくい	
東西関係	○ 公平感	○ 公平感	× 不公平感	○ 公平感	
その他	× 沿道商店の賑わいが生まれない	△ 現在の延長上にある △ 片側2車線は検証が必要	○ まとまり空間による新しい可能性	× バスの運転がしにくく、乗客にも快適でない	
全体評価	× 姫路にはなじまない	○ オーソドックスである	○ 可能性はある	× スピードを落とす役割として不適合 × 将来拡張性に乏しい	

総合評価：B-1案、B-2案を軸に検討されること

## 「姫路の顔づくり」を考える市民ワークショップ ～姫路駅北駅前広場整備と大手前通りの道路空間のあり方について～

- 開催概要  
日時：平成21年12月7日（月）18時半～21時  
場所：姫路市役所北別館2階 中会議室
- 内容  
これまでの経緯および専門家会議の意見の説明  
グループワークと発表  
推進会議への報告のとりまとめ
- コーディネーター  
小林正美（景観デザイン）明治大学
- 参加者  
市民32人（公募）

**姫路市 主催** 「姫路の顔づくり」を考える  
**市民ワークショップ**

姫路市では、姫路駅北駅前広場整備の計画を進めています。本年8月にはバス・タクシー乗降場の配置など地表部の基本レイアウトを決定しましたが、その過程で市民の皆様からのご意見・ご提案をふまえ、十二所前線以南の大手前通りは一般車の通行を制限する方向で計画を進めることとしました。

11月29日には景観や都市デザイン、交通計画などの専門家に集まっていただき、姫路駅北駅前広場整備に伴う大手前通りの在り方について議論していただきます。これに加え、利用していただく市民の皆様から幅広くご意見を伺うために、市民ワークショップを開催することとしました。

皆様からのご意見などを、当日のワークショップにおいて集約し、北駅前広場や大手前通りの整備計画の参考とさせていただきます。市民の皆様とともに利用しやすい駅前広場作りを目指していきたいと考えていますので、積極的なご参加をお願いいたします。

**参加者募集**

日時：平成21年 **12月7日**（月）  
18時30分～21時00分  
場所：姫路市役所北別館2階 中会議室



内容：○これまでの経緯および専門家会議の意見の説明  
○グループワークと発表  
○推進会議への報告のとりまとめ  
コーディネーター：明治大学教授 小林正美

定員：30人（応募多数の場合は抽選※）  
申込方法：裏面の申込用紙に、住所・氏名・連絡先を記入の上、電話・FAX・メールにてお申込ください。  
申込期限：平成21年12月2日（水）昼12時まで  
※抽選結果は12月3日（木）13時以降に通知します



# 第1回市民ワークショップ

12月7日（月）市役所北別館中会議室にて開催

## ★グループワーク1（約20分）

### 『駅前広場の空間の使い方』

#### 話し合うポイント

- 駅前広場でやってみたいこと
- 駅前広場での時間の使い方
- 市民参加の管理運営の方法 など

（あまり詳細なデザインの議論は避けましょう）

## ★グループワーク2（約25分）

### 『大手前通りのあり方』

#### 話し合うポイント

- 大手前通りの歩車道の考え方（A、B-1、B-2）についてよい点・悪い点を考える
- 大手前通りでの時間の使い方
- 市民参加の管理運営の方法 など

（B-3、B-4については、省略します）



# 第1回市民ワークショップ

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## 駅前広場空間の使い方



### ★運営方針

『市民主体で運営を行っていく空間』

- 認定組織
- アートディレクター
- NPO（新しい組織をつくる）
- 民間交番

### ★サンクンガーデン北側広場

『憩い、体験の空間』

- イベント ●展示 ●憩い
- 待ち合わせ（花の広場）
- 大道芸 ●市場 ●運動会
- 商業空間との連携（商とのリンク）
- オープンカフェ

### ★中央コンコース前

『姫路の顔となる空間』

- 姫路の顔
- 来訪者に印象付ける（モニュメント・時計台）
- 関所（姫路の玄関） ●オープンカフェ
- 姫路の歴史性

### ★サンクンガーデン

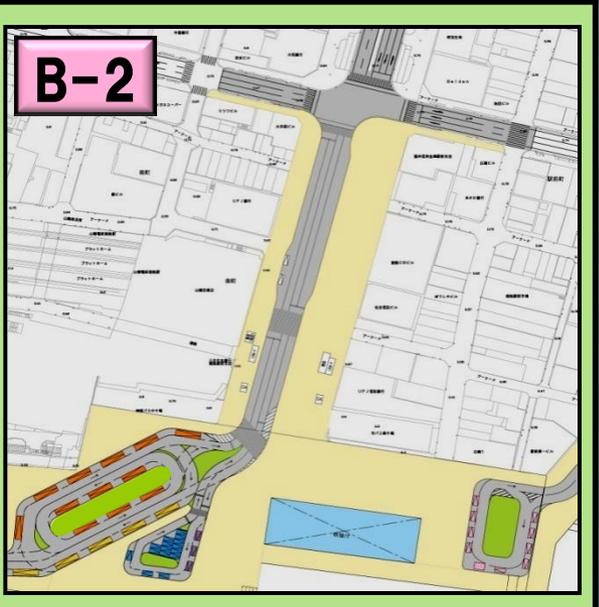
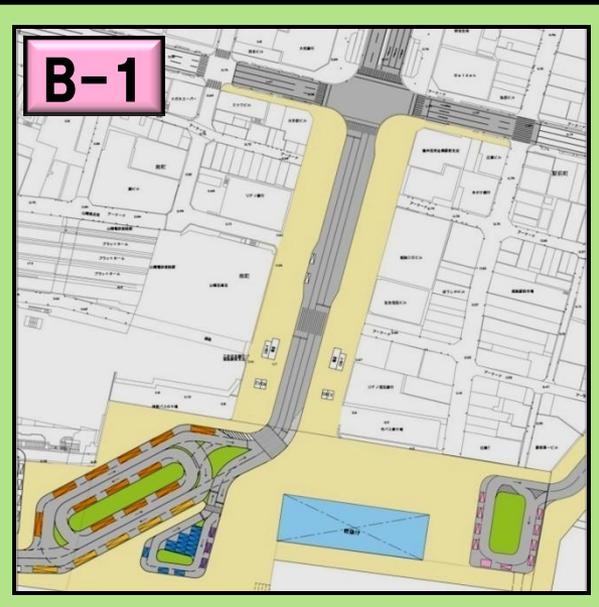
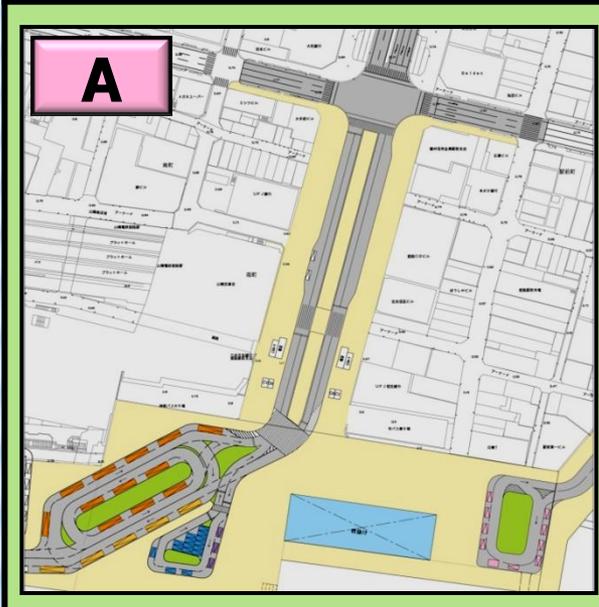
『姫路城（外壕）を感じる空間、行政・都市サービス空間』

- ミニコンサート ●外壕のイメージ
- 行政サービス ●北側広場と一体的に
- モニュメント

# 第1回市民ワークショップ

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆大手前通りのあり方



- お城を真正面に見れる
- 中央と両サイドの連携が図れない
- 真ん中だけを人が歩いてしまう
- 中央部分の利用イメージがわからない
- 中央の利用方法がポイントになる

- 東西が公平である
- 全体のバランスがよい
- オーソドックスである
- 1階の店舗との連携が大切
- 中央を車が走るの、お城の眺望が阻害される

- 広場的利用が出来る
- 将来交通への対応が可能
- 東西が不公平である
- お城の軸線がずれる
- 不要な空間になる可能性がある

- 自転車と歩行者を分ける
- 何もせず広い道路がよい

- 車道と歩道の段差を解消する
- オープンカフェなどが出来るようにする

- 石などで美装化する

将来を考えるとA案よりもB-1案、B-2案の方がいいのではないかと

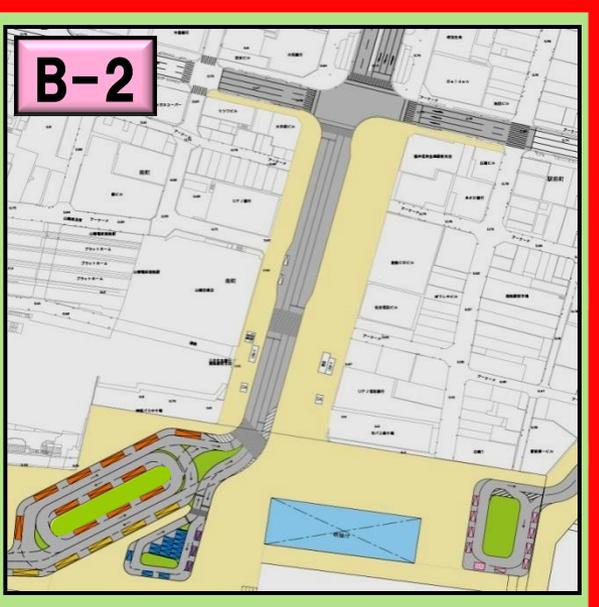
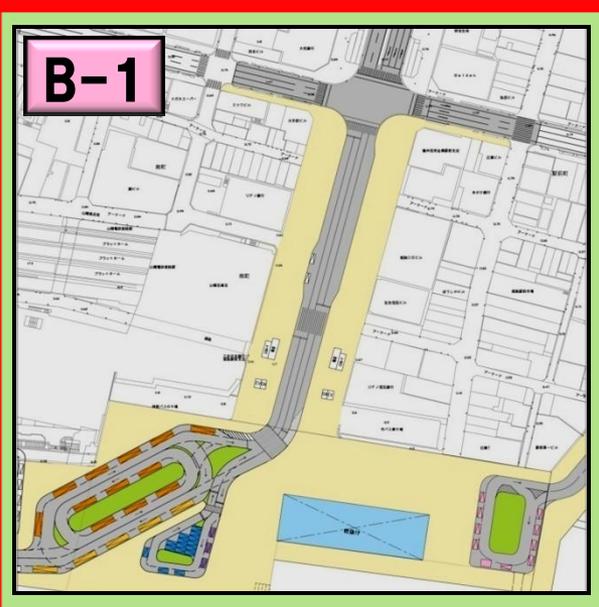
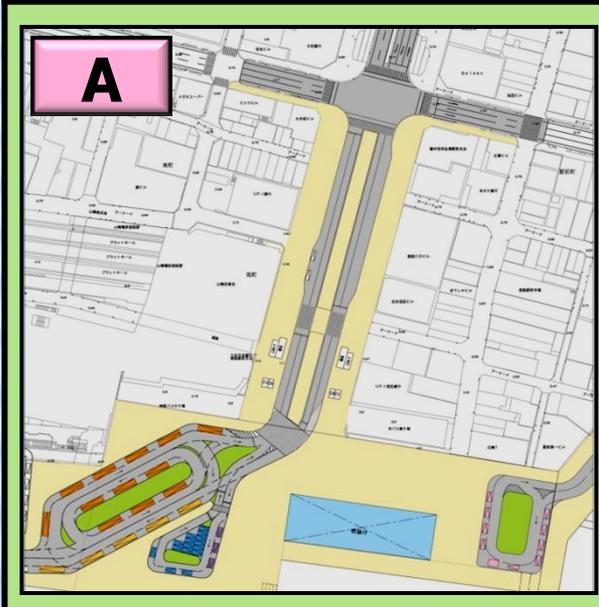
## **第2章**

# **大手前通りの空間配分について 関係機関協議（報告）**

# ■大手前通りのあり方について

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

(第1回専門家会議や市民ワークショップでの意見より)



- お城を真正面に見れる
- 中央と両サイドの連携が図れない
- 真ん中だけを人が歩いてしまう
- 中央部分の利用イメージがわからない
- 中央の利用方法がポイントになる

- 東西が公平である
- 全体のバランスがよい
- オーソドックスである
- 1階の店舗との連携が大切
- 中央を車が走るの、お城の眺望が阻害される

- 広場的利用が出来る
- 将来交通への対応が可能
- 東西が不公平である
- お城の軸線がずれる
- 不要な空間になる可能性がある

- 自転車と歩行者を分ける
- 何もせず広い道路がよい

- 車道と歩道の段差を解消する
- オープンカフェなどが出来るようにする

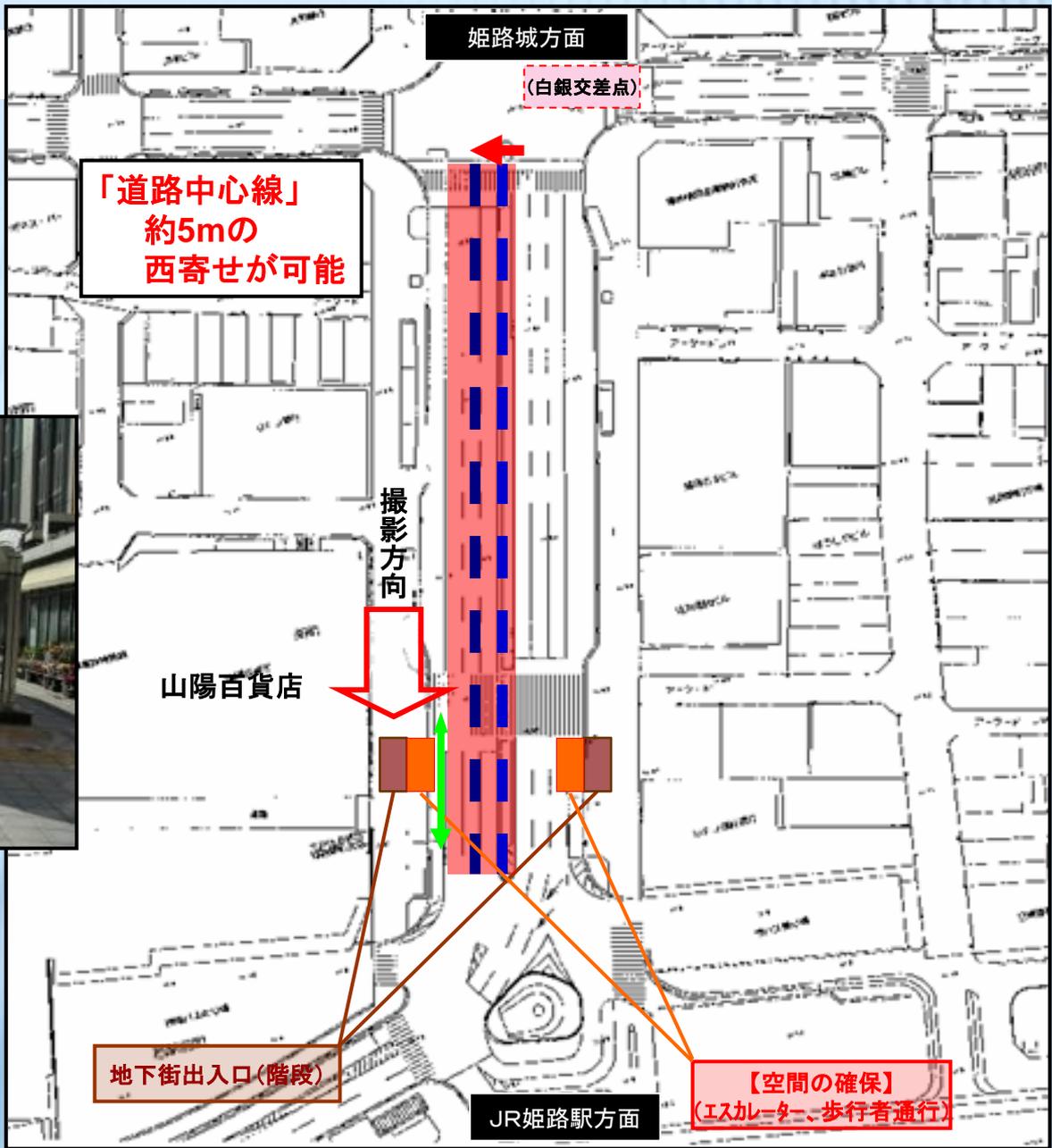
- 石などで美装化する

将来を考えるとA案よりもB-1案、B-2案の方がよい。

# ■ B-2案（車道西寄せ案）の検討

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

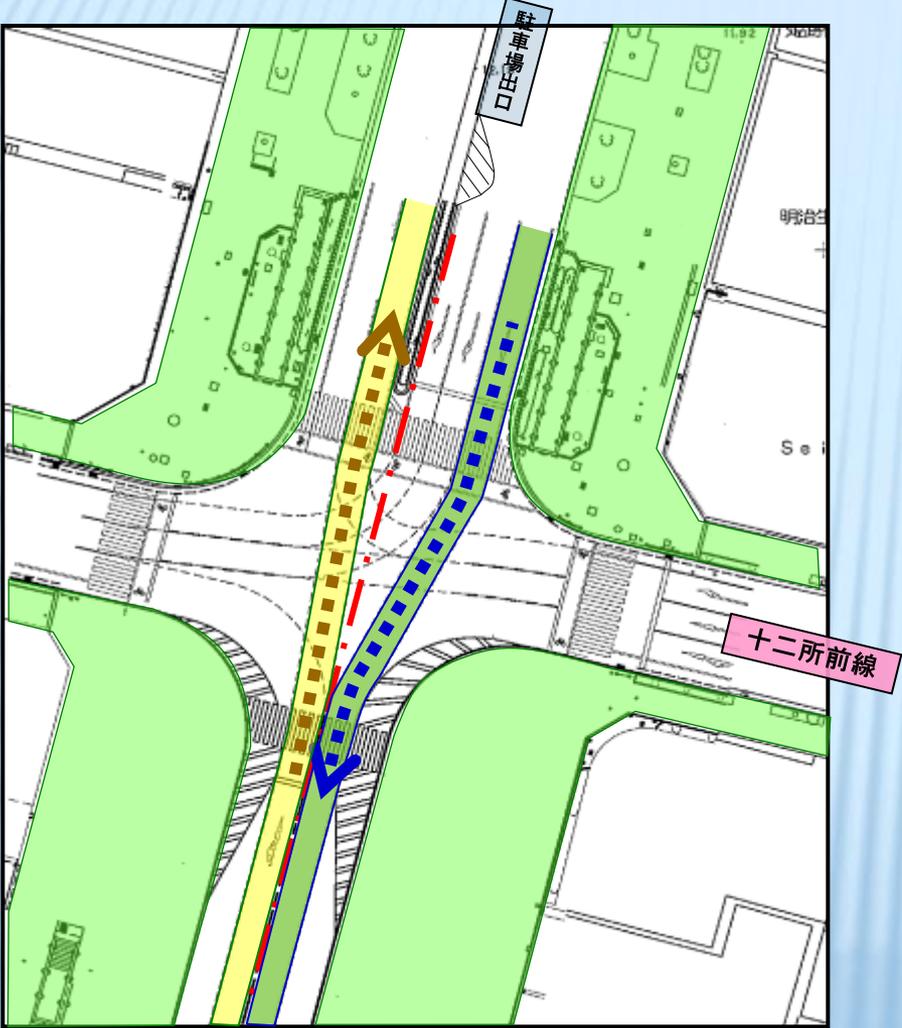
## ◆ 地下街エスカレーター計画との調整



# ■十二所前線交差点（白銀交差点）での車線シフト

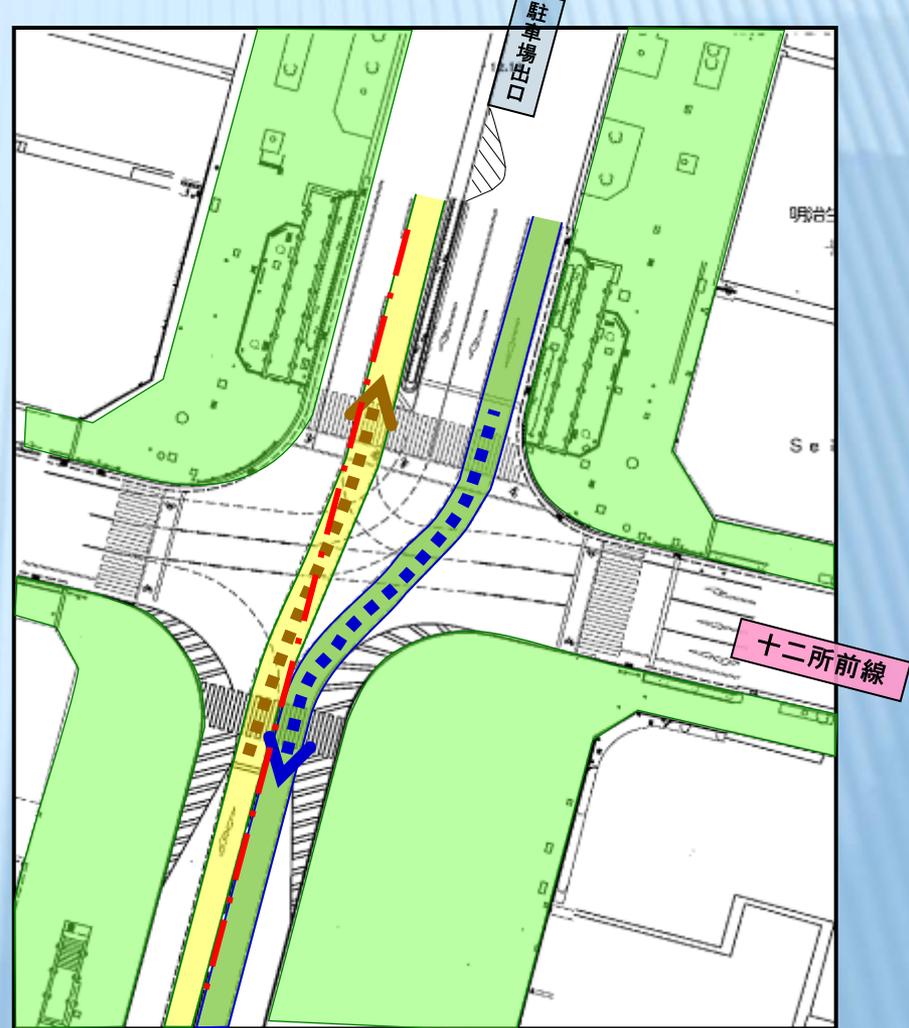
基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

B-1案(中央)



シフト小

B-2案(約5m西側へ)

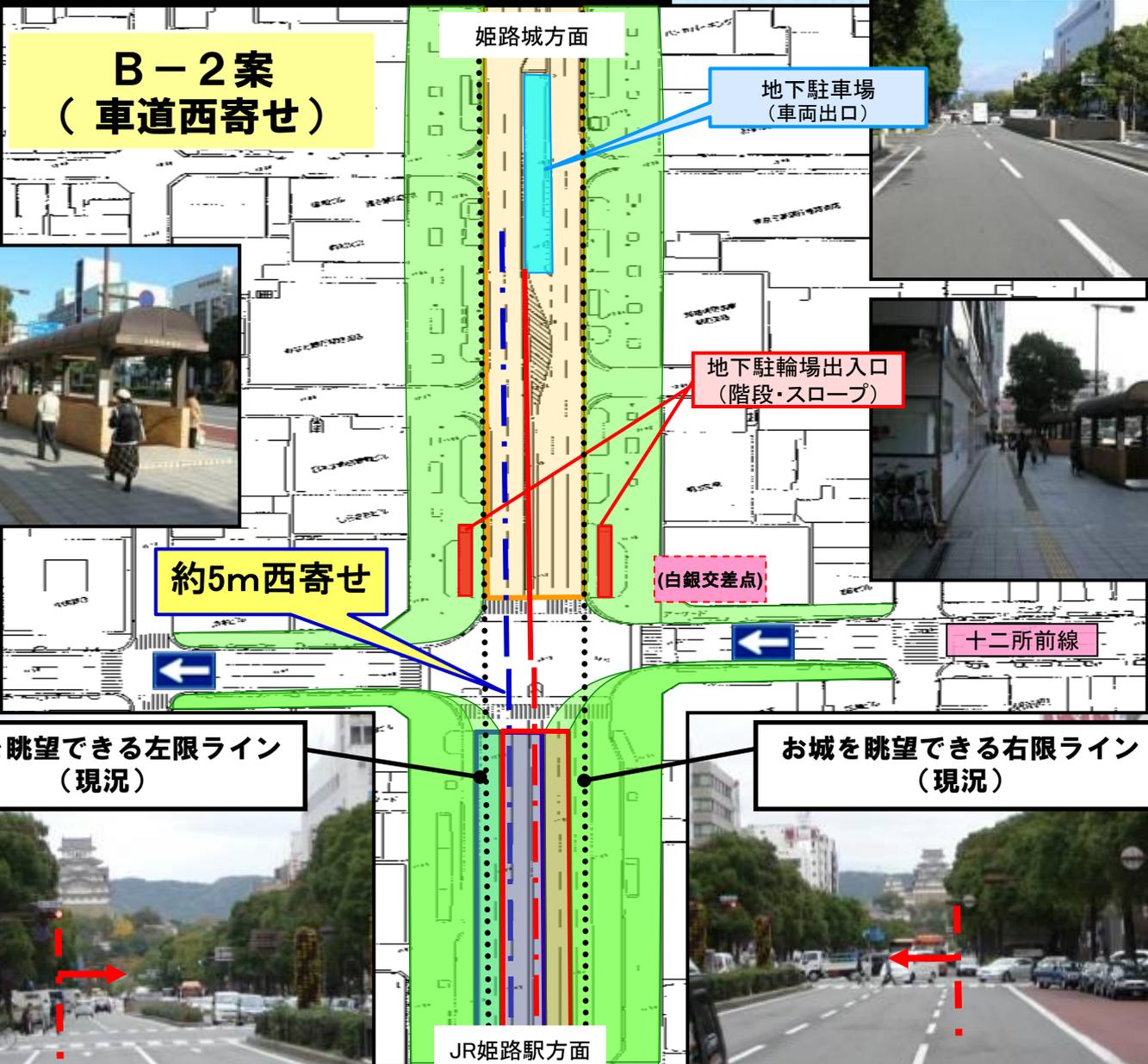


シフト大

=「視認性が悪く、安全性に課題」  
「乗客の快適性に課題」

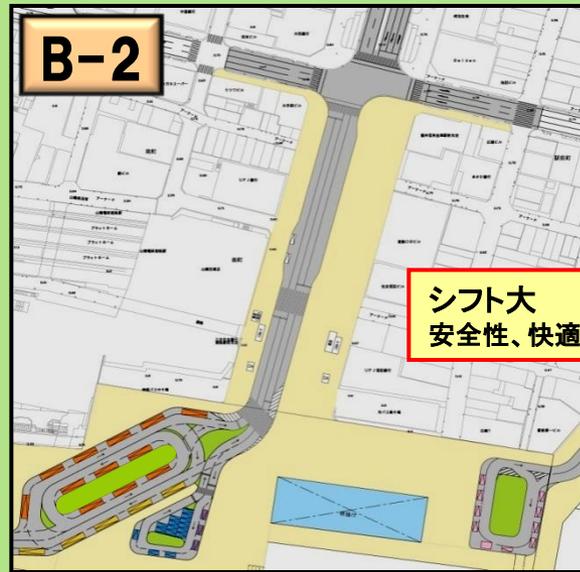
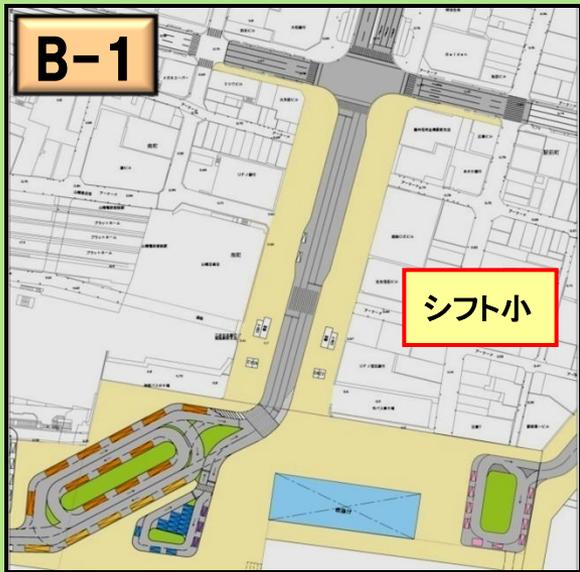
# ■十二所前線以北の大手前通り

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



# ■大手前通りのあり方について（報告）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



シフト小

シフト大  
安全性、快適性に課題

- 東西が公平である
- 全体のバランスがよい
- オーソドックスである
- 1階の店舗との連携が大切
- 中央を車が走るので、お城の眺望が阻害される

- 広場的利用が出来る
- 将来交通への対応が可能
- 東西が不公平である
- お城の軸線がずれる
- 不要な空間になる可能性がある

- 自転車と歩行者を分ける
- 何もせず広い道路がよい

- 車道と歩道の段差を解消する
- オープンカフェなどが出来るようにする

- 石などで美装化する

「B-1」案（中央案）を基本とする



十二所前線以北の  
大手前通り計画との調整

## **第3章**

# **サンクンガーデンと地上広場について**

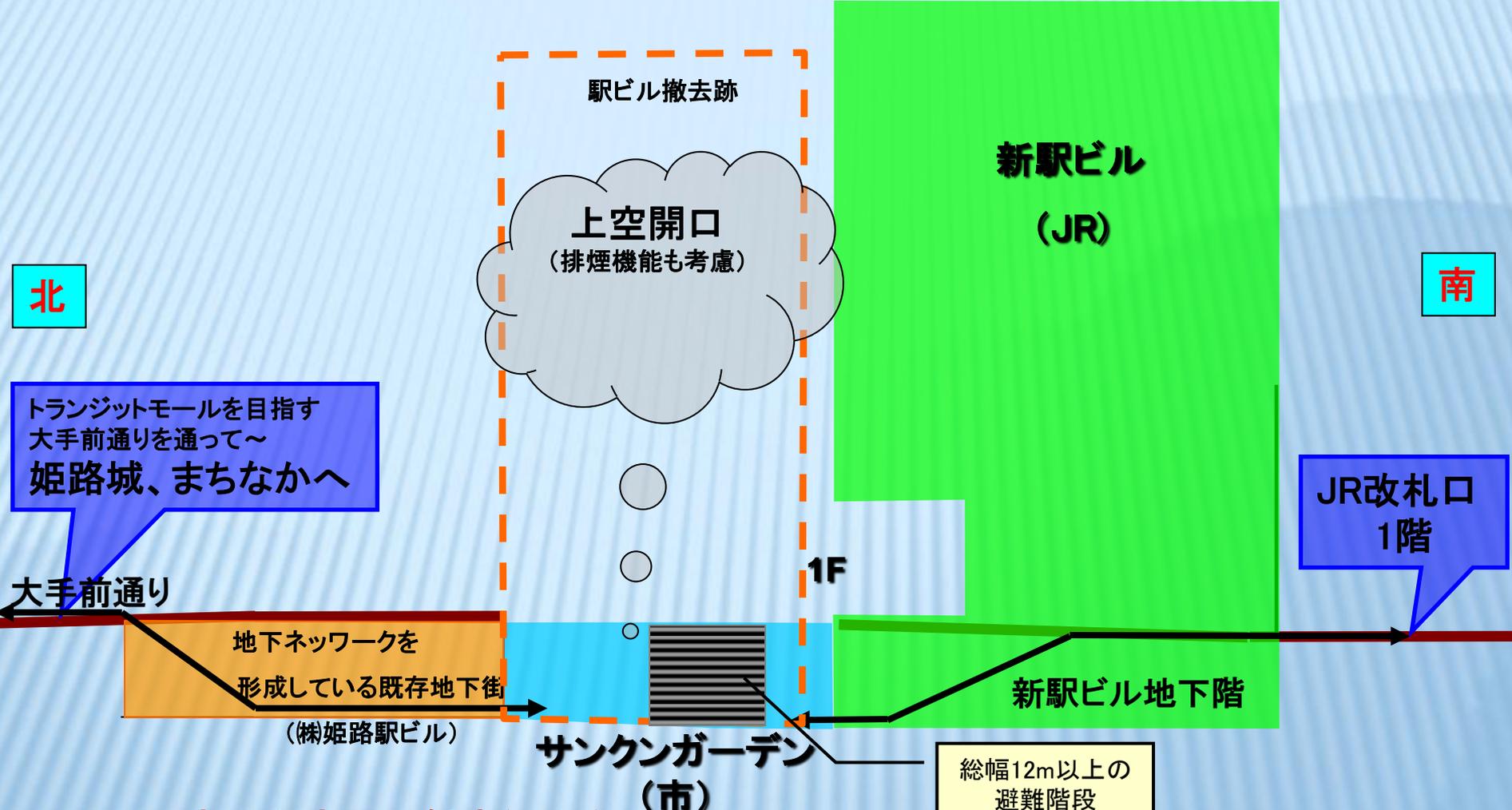
# **第1節**

## **サンクンガーデンのデザインの前提条件**

**姫路駅北駅前広場の「くつろぎ・にぎわい空間」の中核となる  
サンクンガーデンのデザインについて**

# ■サンクンガーデンが備えるべき防災機能

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



新たな空間の創造(目的)

新駅ビル地下階とリニューアルされる地下街との一体的な賑わいの場

サンクンガーデンは、地下街に対する『防災上必要な施設』  
法令への適合(条件)...「上空開口」「避難階段」など

# ■サンクンガーデンと地下街・新駅ビル地下階の関係

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

【新駅北ビル】  
(株)姫路駅ビル:計画中

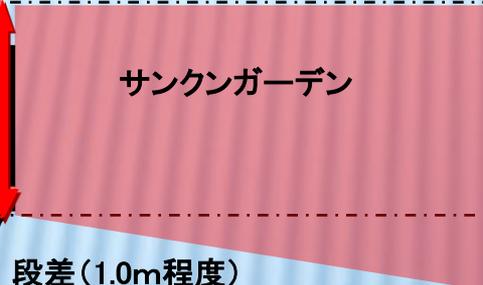
【新駅ビル】  
JR:計画中



▼北広場

【サンクンガーデン】

▼新駅ビル1階フロア 幅 10m



店舗  
【地下街】

サンクンガーデン

店舗

地下街通路  
フロア幅 3m

段差(1.0m程度)

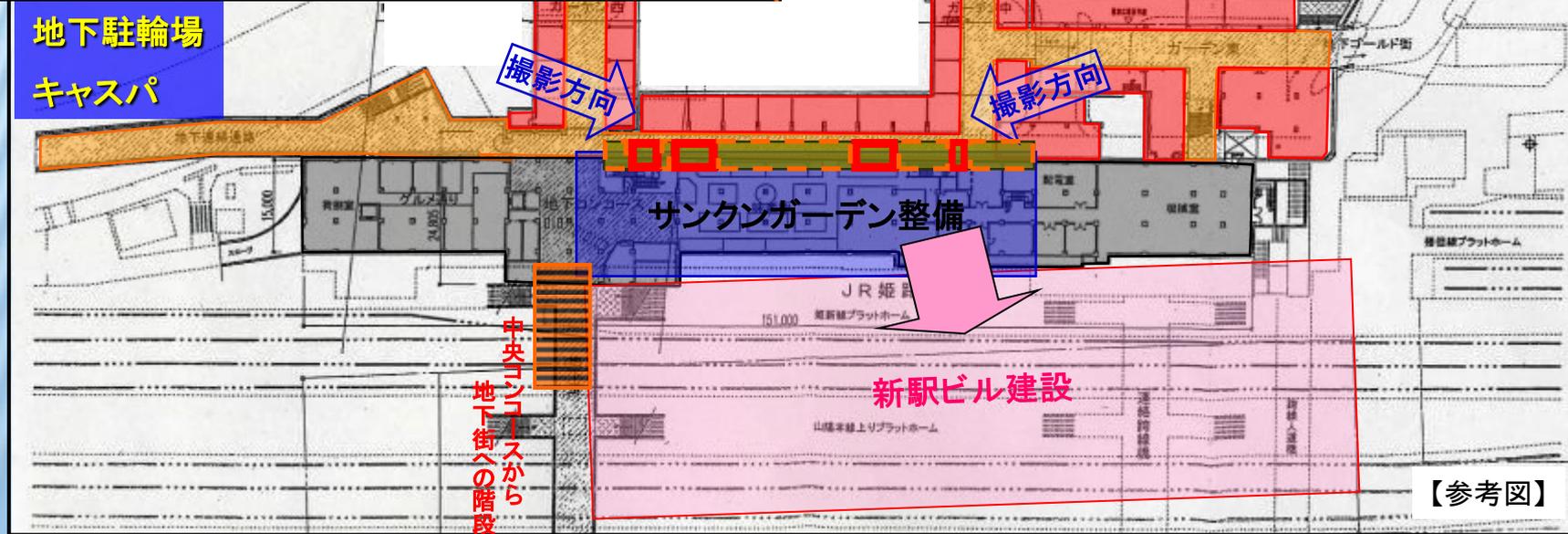
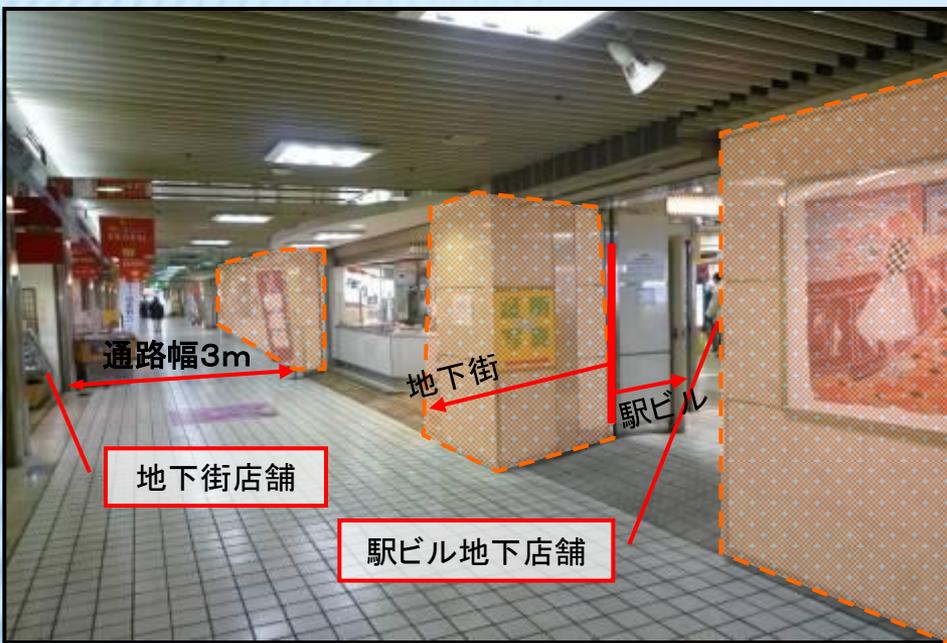
▼新駅ビル地下フロア

高低差 4.5m

- 段差(地下フロア高の差1.0m程度)の調整が必要
- 地下街接続の調整が必要

# ■地下街通路（現況）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



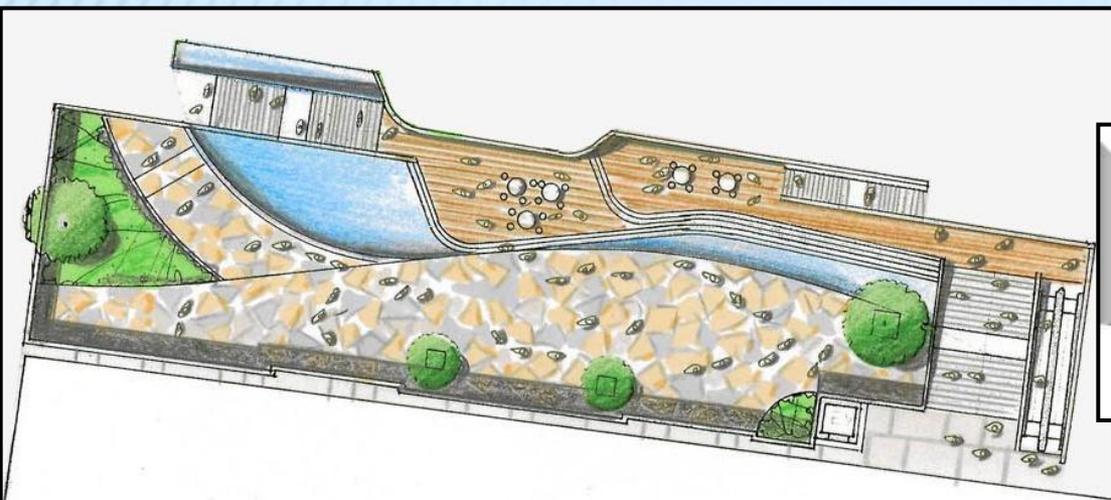
■ 地下通路の壁 □ 開口部

【参考図】

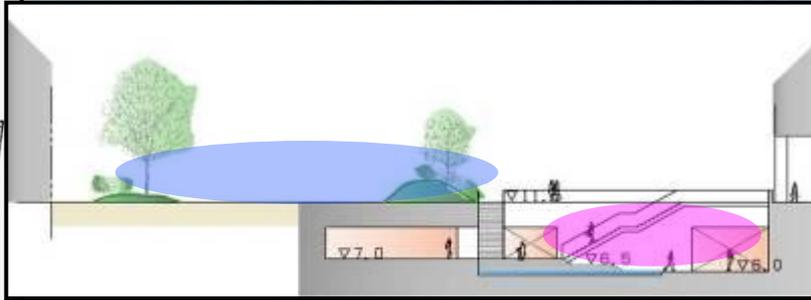
# ■サンクンガーデンのデザイン

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

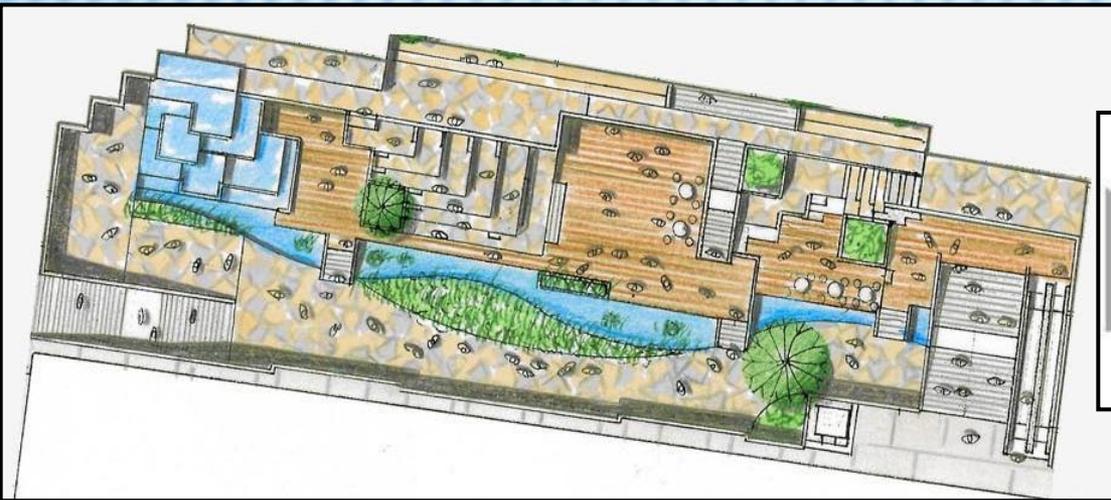
Plan:A



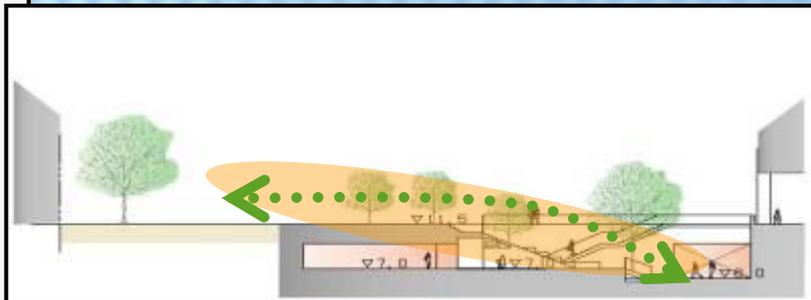
空間のしつらえを明確に分ける



Plan:B

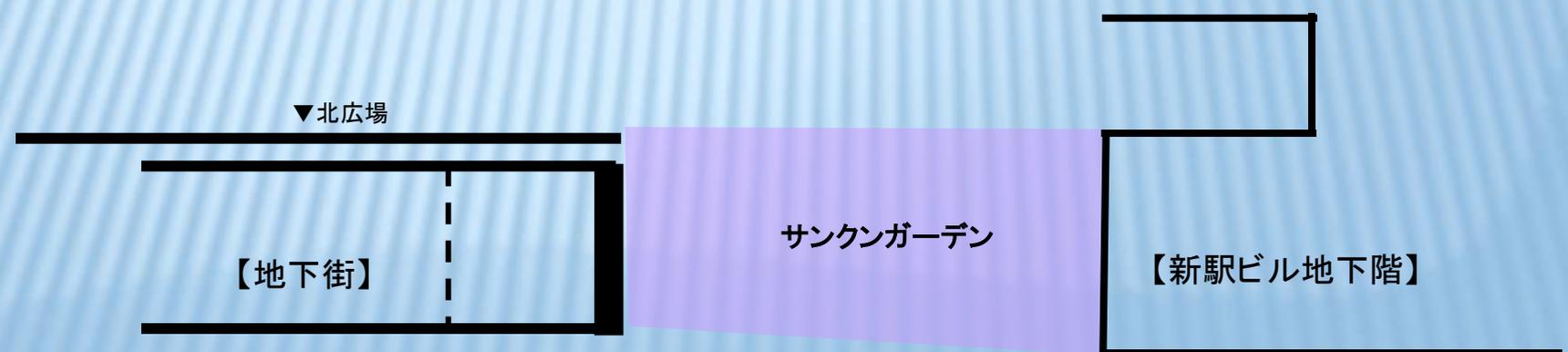


空間のしつらえを一体的に



## Plan : A

### サンクンガーデンと地上空間の 線的な連続性の確保



# Plan : A (サンクンガーデンと地上との関係)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

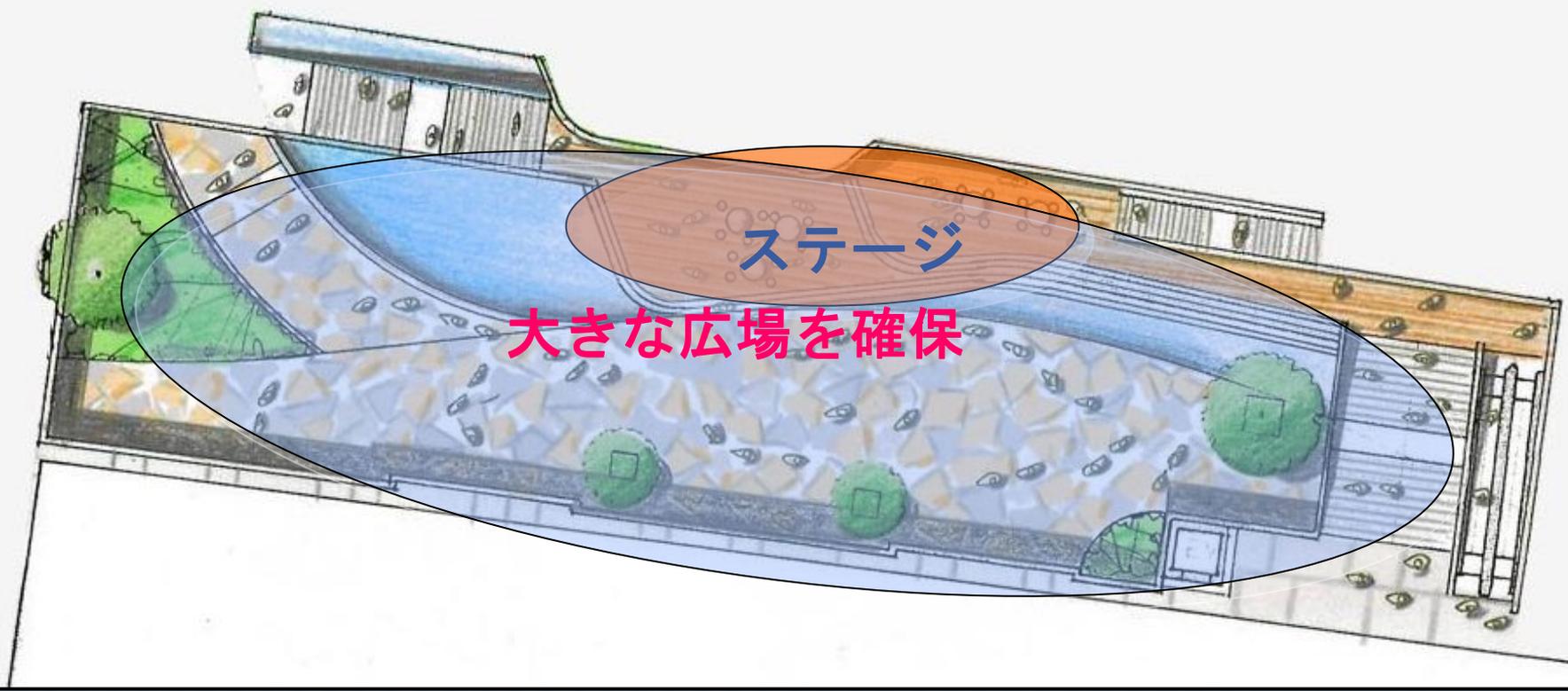
- 地上とサンクンガーデンの高低差を動線により線的につなぐ
- イベントや「見る」「見られる」等の活動の一体性の確保



# Plan : A (サンクンガーデンと地上との関係)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

- 地下街の壁を含め、ステージとして活用可能な空間を創出
- 大きな広場を確保すると共に、植栽やステージ等で空間を分節



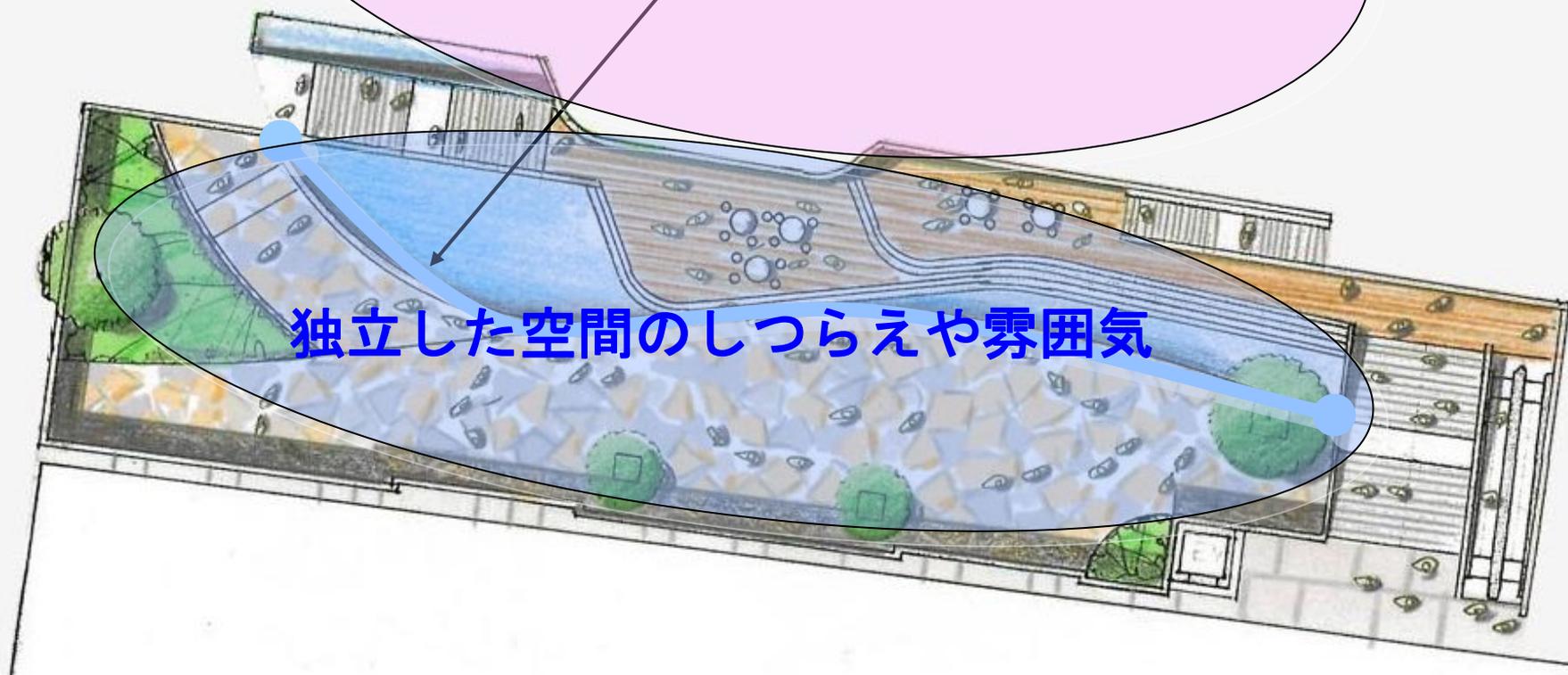
# Plan : A (サンクンガーデンと地上との関係)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

- サンクンガーデンで憩い・やすらぎ空間を創出
- しつらえや雰囲気異なる空間を確保

**独立した空間のしつらえや雰囲気**

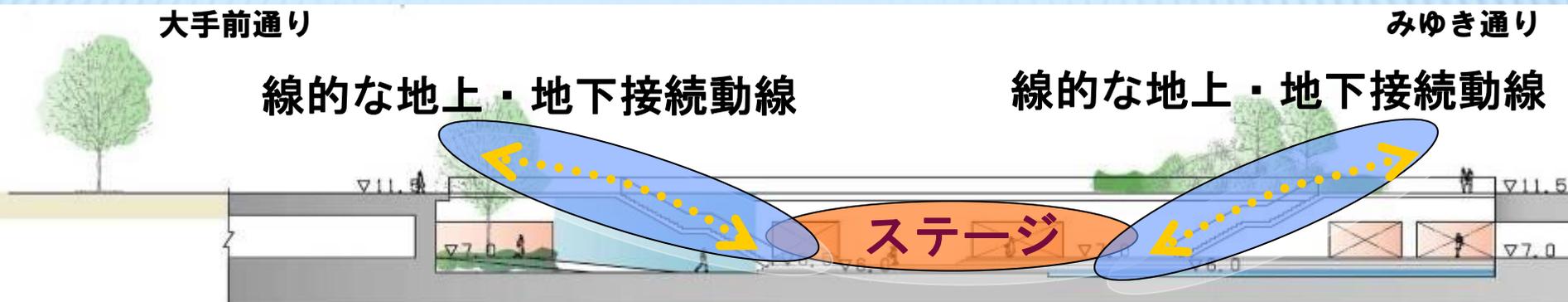
水景による憩い・やすらぎ空間を創出



**独立した空間のしつらえや雰囲気**

# Plan : A (サンクンガーデンのデザイン)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



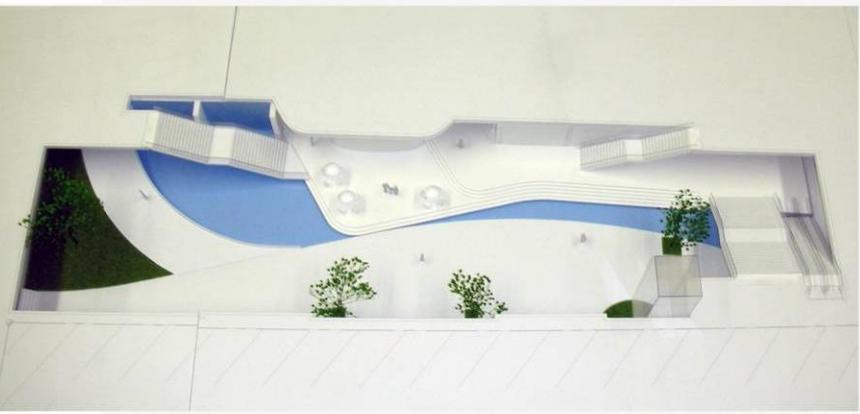
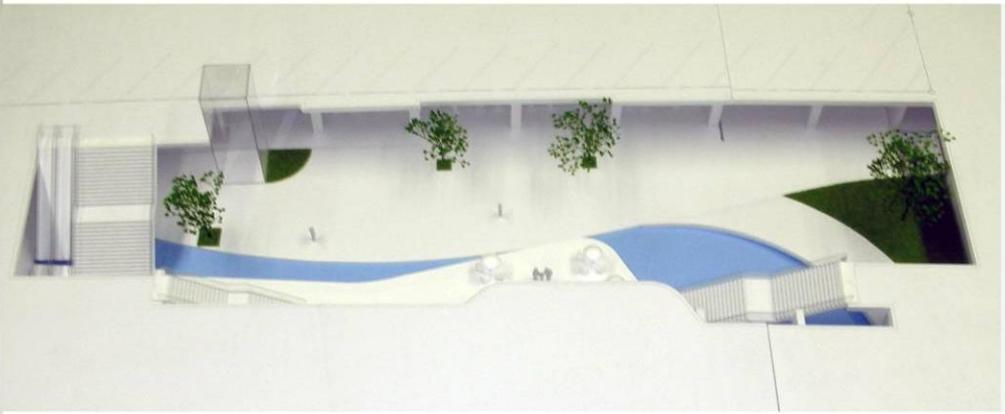
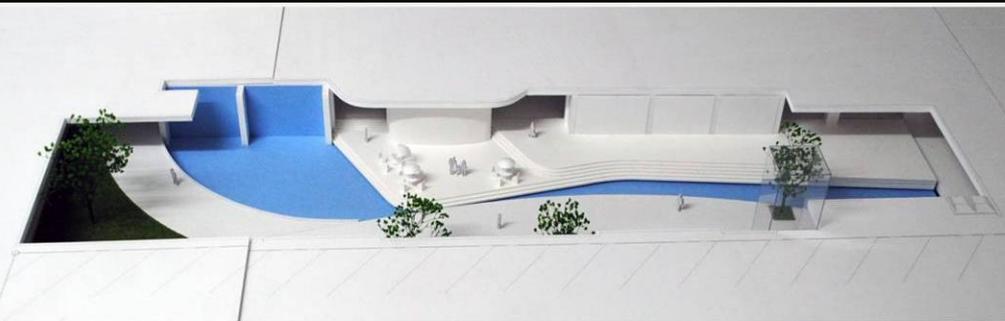
## □サンクンガーデン断面図／東西方向



## □サンクンガーデン断面図／南北方向

# Plan : A (サンクンガーデンのデザイン)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



## Plan : B

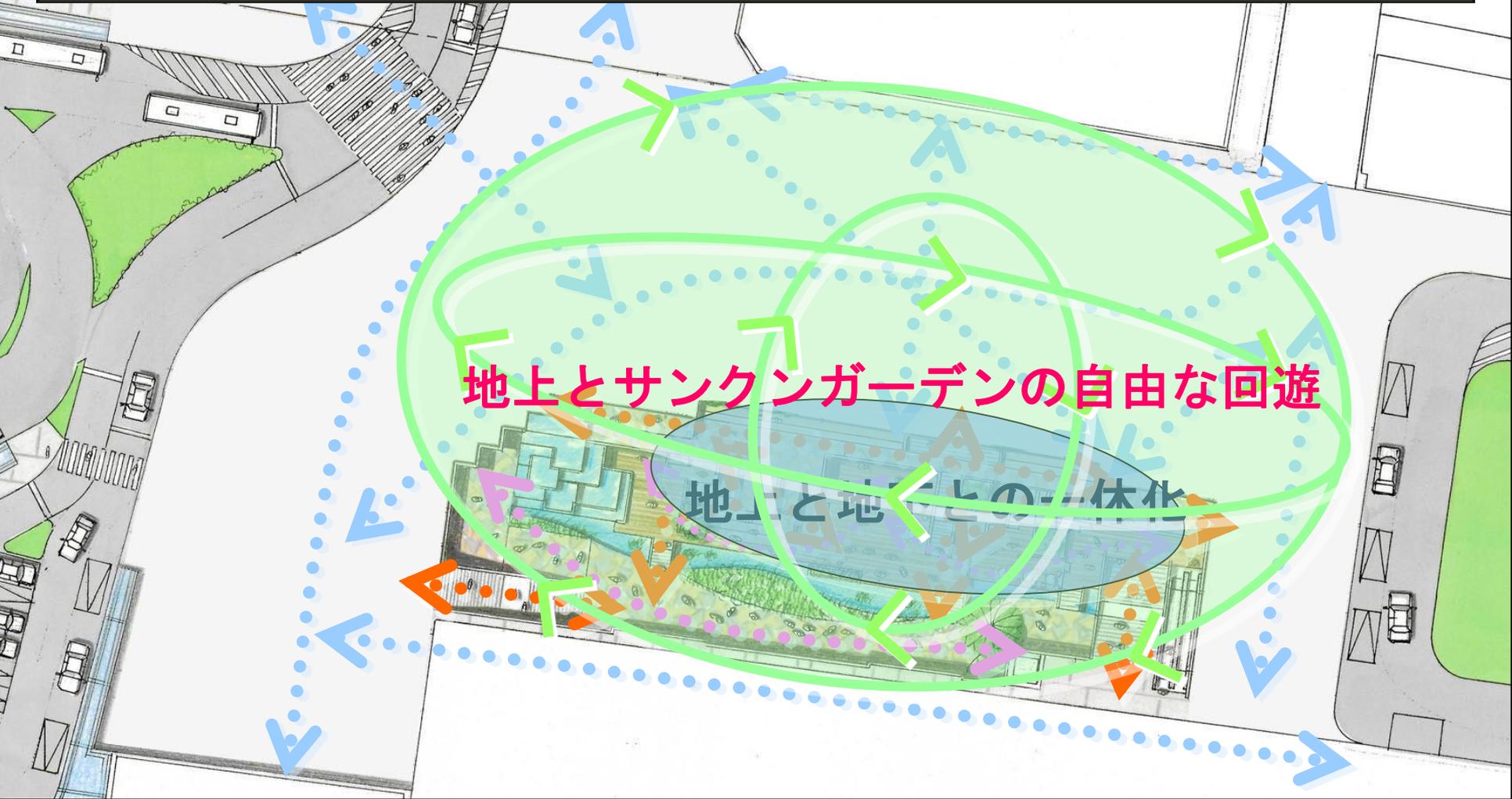
### サンクンガーデンと地上空間の 面的な連続性の確保



# Plan : B (サンクンガーデンと地上との関係)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

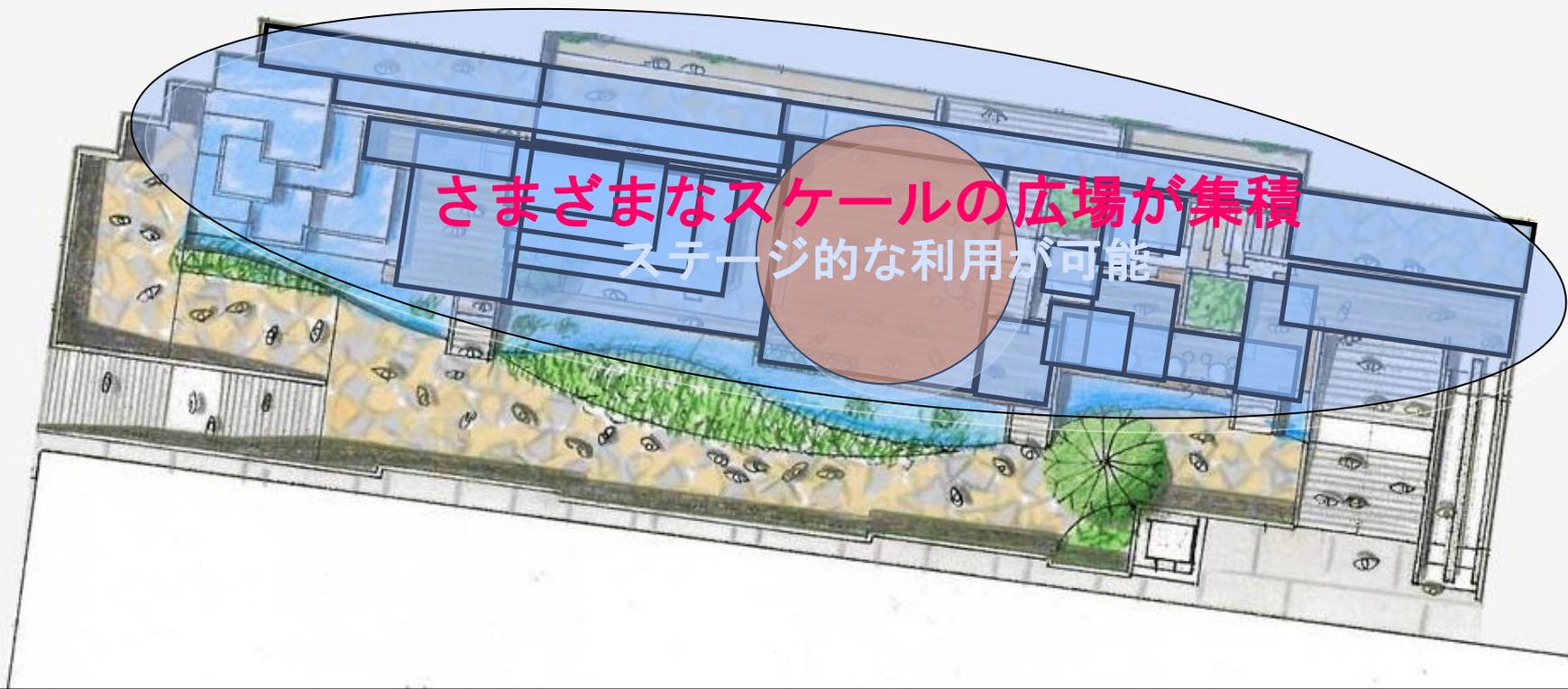
- 地上とサンクンガーデンの高低差を広場を多層的に配してつなぐ
- 地上とサンクンガーデンを自由に回遊できる空間



# Plan : B (サンクンガーデンと地上との関係)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

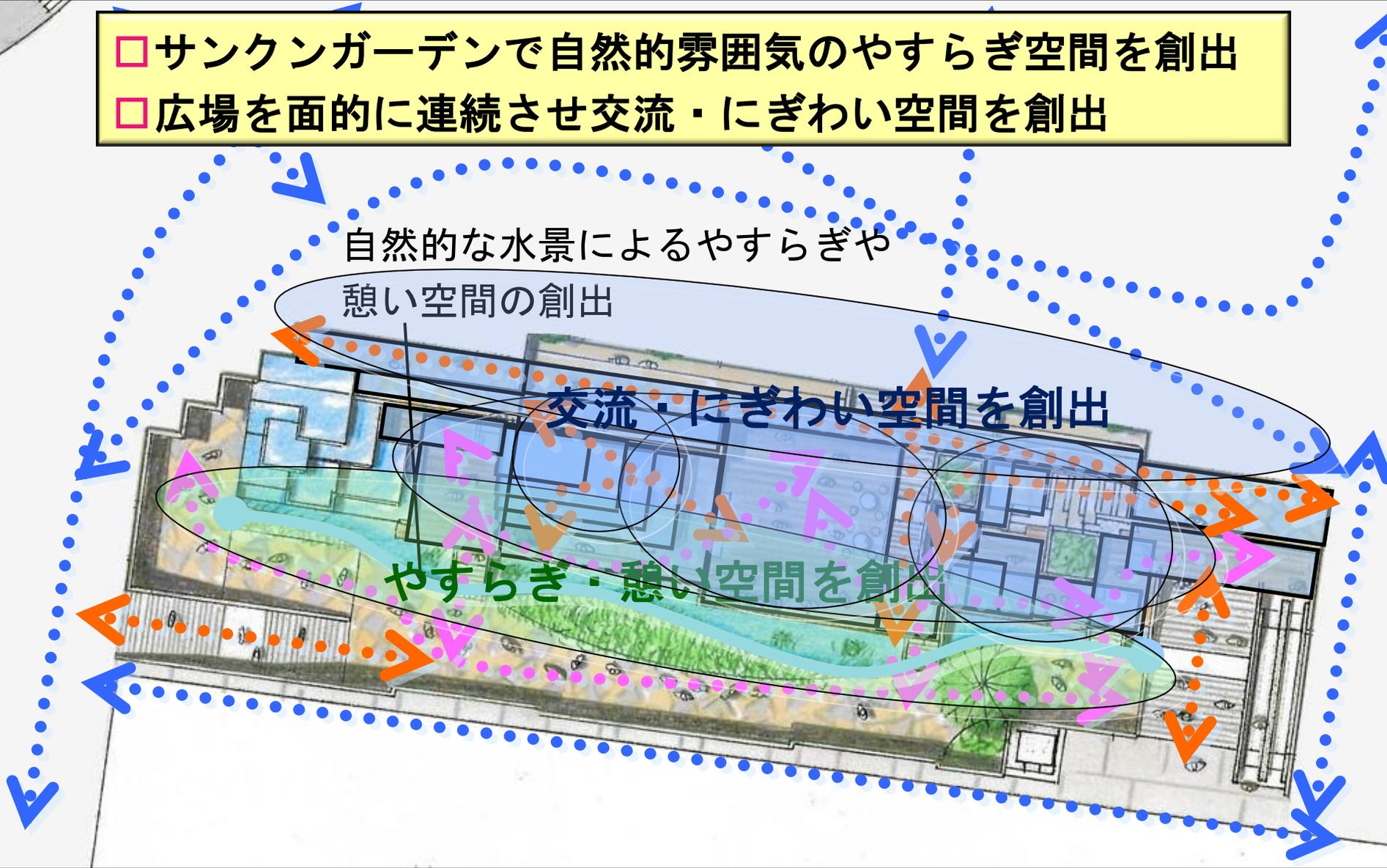
- 内容・目的に合わせて利用する空間の大きさを選択可能
- 舗装パターンや広場形状、植栽等により空間を分節化



# Plan : B (サンクンガーデンと地上との関係)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

- サンクンガーデンで自然的雰囲気やすらぎ空間を創出
- 広場を面的に連続させ交流・にぎわい空間を創出

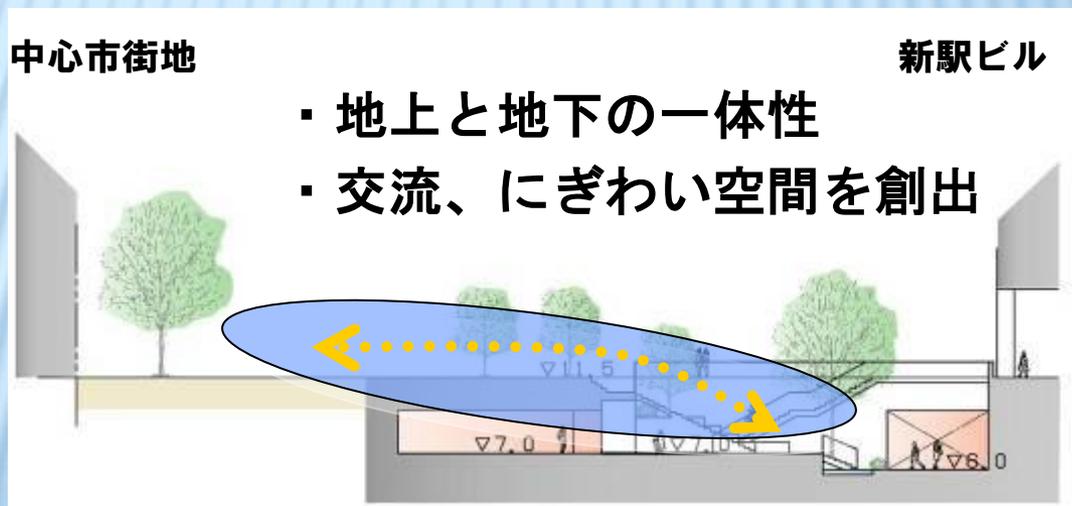


# Plan : B (サンクンガーデンのデザイン)

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



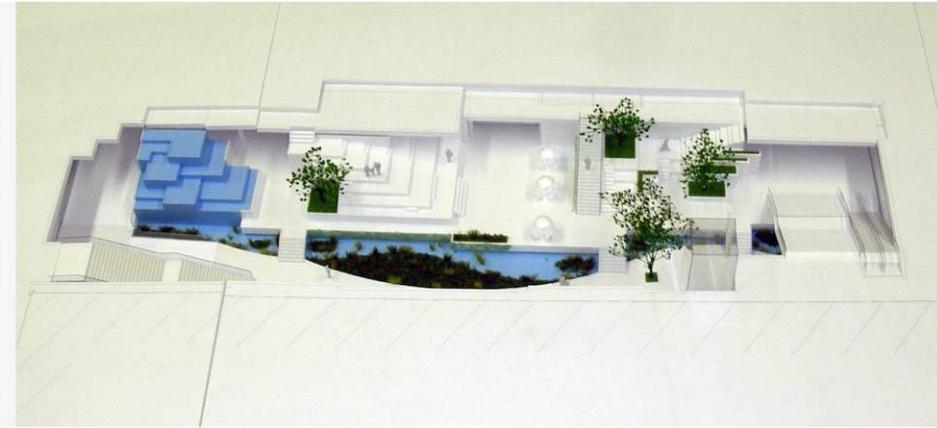
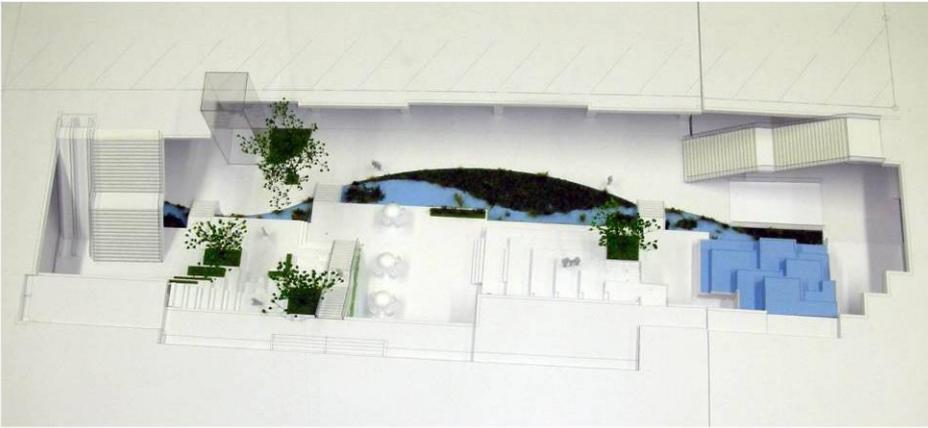
## □サンクンガーデン断面図／東西方向



## □サンクンガーデン断面図／南北方向

# Plan : B (サンクンガーデンのデザイン)

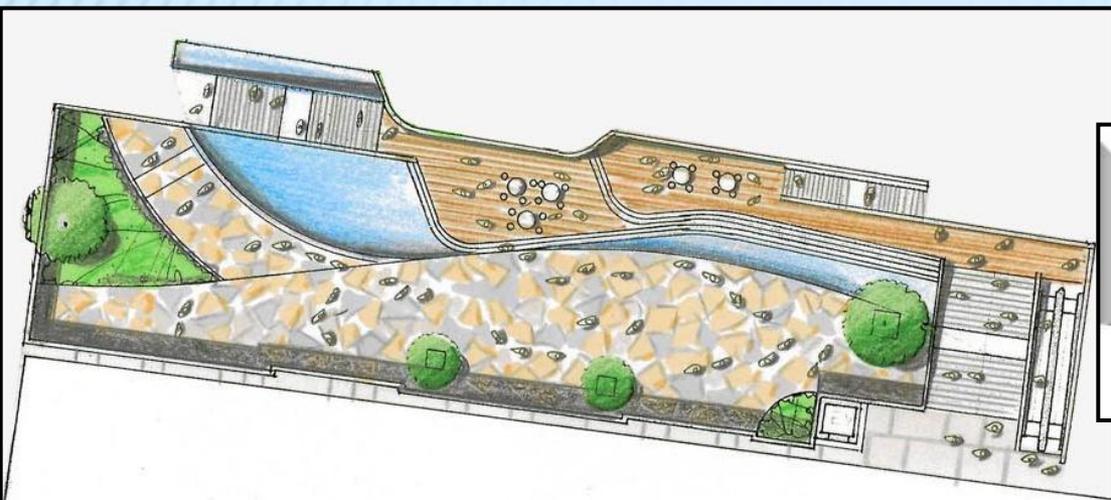
基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



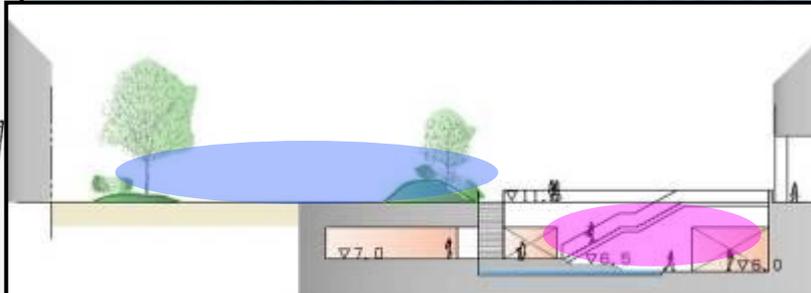
# ■サンクンガーデンのデザイン比較

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

Plan:A



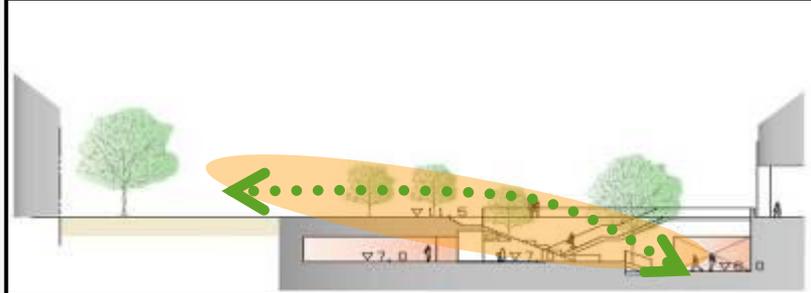
空間のしつらえを明確に分ける



Plan:B



空間のしつらえを一体的に



## **第2節**

# **サンクンガーデンのデザインに対する意見**

## 「姫路の顔づくり」を考える専門家会議 Vol.2 ～おもてなし広場の創出に向けたくつろぎ・にぎわい空間のデザインを考える～

●開催概要  
 日時：平成22年2月11日（木）14時～17時  
 場所：七福座（西二階町コミュニティーホール）

●参加者  
 小林正美（景観デザイン）明治大学 ＊コーディネーター  
 倉田直道（都市デザイン）工学院大学  
 中井検裕（社会システム）東京工業大学  
 小野寺康（景観デザイン）小野寺康都市設計事務所  
 吉田慎悟（色彩計画）武蔵野美術大学客員教授

●プログラム  
 14時 ～ 開会  
 14時半～ 経緯の説明  
 15時 ～ ディスカッション  
**テーマ1：広場のデザインの方向性**  
**テーマ2：広場空間の活用と管理の在り方**

「姫路の顔づくり」を考える専門家会議 Vol.2

おもてなし広場の創出に向けた  
くつろぎ・にぎわい空間のデザインを考える

姫路市では、姫路駅北駅前広場と十二所前線以南の大手前通りを、公共交通を優先した人にやさしい空間として再整備することとしています。  
 そのため、昨年11月に開催した第1回専門家会議では、姫路駅北駅前広場と大手前通りの道路空間の在り方について議論して頂きました。  
 第2回となる今回は、主に景観デザインやまちづくりの専門家の方々に集まって頂き、くつろぎやにぎわいの空間を創出するため、広場のデザインの方向性について議論していただくとともに、姫路駅北駅前広場から大手前通りへつながる広い空間の活用や管理の在り方についても議論していただきます。

**見学無料**

参加専門家 (アイワイ編)

	明治大学教授 小林正美 (景観デザイン) ＊コーディネーター
	工学院大学教授 倉田直道 (都市デザイン)
	東京工業大学教授 中井検裕 (社会システム)
	小野寺康都市設計事務所 小野寺康 (景観デザイン)
	武蔵野美術大学客員教授 吉田慎悟 (色彩計画)

開催日 平成22年2月11日(木)  
14:00 ~ 17:00

場所 西二階町コミュニティーホール「七福座」  
姫路市西二階町商店街内

スケジュール  
 14:00 ~ 開会  
 14:30 ~ 経緯の説明  
 15:00 ~ ディスカッション  
 ▶テーマ1：広場のデザインの方向性  
 ▶テーマ2：広場空間の活用と管理の在り方

【結果は姫路市HPで公表いたします】

主催 / 姫路市姫路駅周辺整備室  
 事務局・お問合せ先 / 姫路市姫路駅周辺整備室  
 TEL 079-221-2159  
 E-mail akishuhen@city.himeji.lv.go.jp

# ■ 第2回専門家会議

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

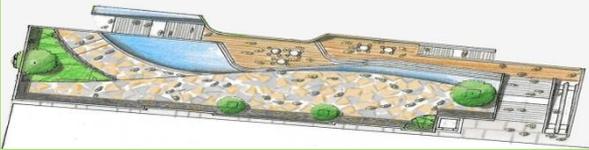
## 2月11日（木）七福座にて開催



# 第2回専門家会議（専門家の意見）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆サンクンガーデンA案・B案について

	<b>A案</b> 	<b>B案</b> 
<b>高く評価できる点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国サンアントニオのリバーウォークを彷彿させる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンクンと広場のつながりがある</li> <li>・ スケール感はよい</li> <li>・ しつらえはよい</li> <li>・ 陰影が出て雰囲気はよい</li> <li>・ 造形に力が入っている</li> </ul>
<b>あまり評価できない点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上下の広場が分断している</li> <li>・ 個性に欠ける</li> <li>・ 上下の広場のアクティビティに差が生まれない</li> <li>・ 人を滞留させる工夫がされていない</li> <li>・ 水の流れと現代和風があうのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要素が多いので整理が必要</li> <li>・ 中間的なレベルを多くすべき</li> <li>・ ”裏”をつくらない工夫が必要</li> <li>・ 手すりなどを含めた全体デザインの検討が必要</li> </ul>
<b>検討課題（共通）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日陰で地下なので、ビオトープを維持するのはかなり難しい</li> <li>・ 中間にブリッジをかけるという考えもある</li> <li>・ 部分的に屋根をかけるという考えもある（庇など）</li> <li>・ 流れをわたるのに緩やかなスロープが必要（やさしさの表現）</li> </ul>	



上下の広場のつながりとヒューマンスケールを考慮し、  
B案を軸に検討を進めるべきである

## **第3節**

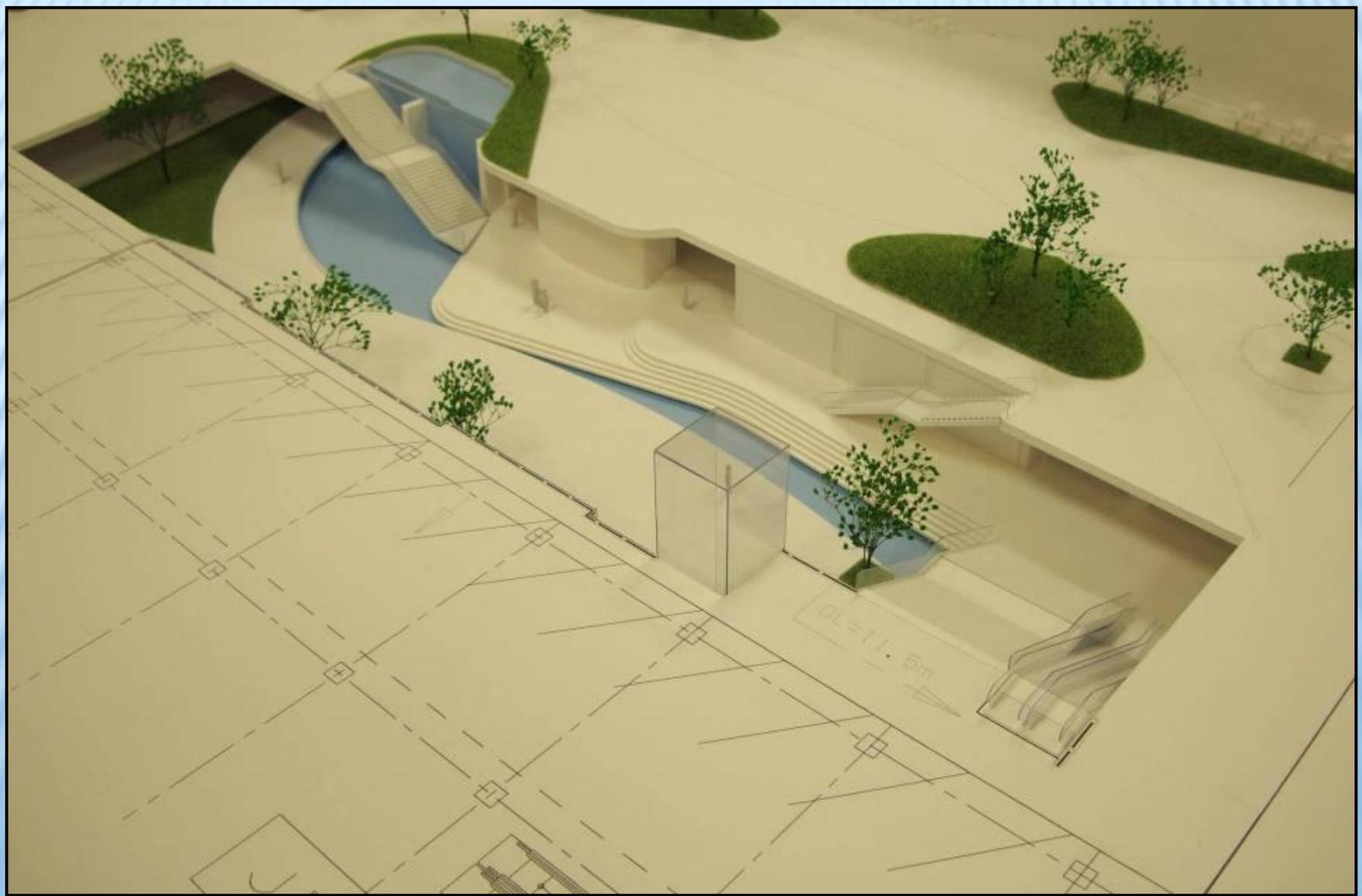
### **地上広場のデザイン（専門家の提案）**

# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ Plan : A

動線により流動的な空間をつくる案

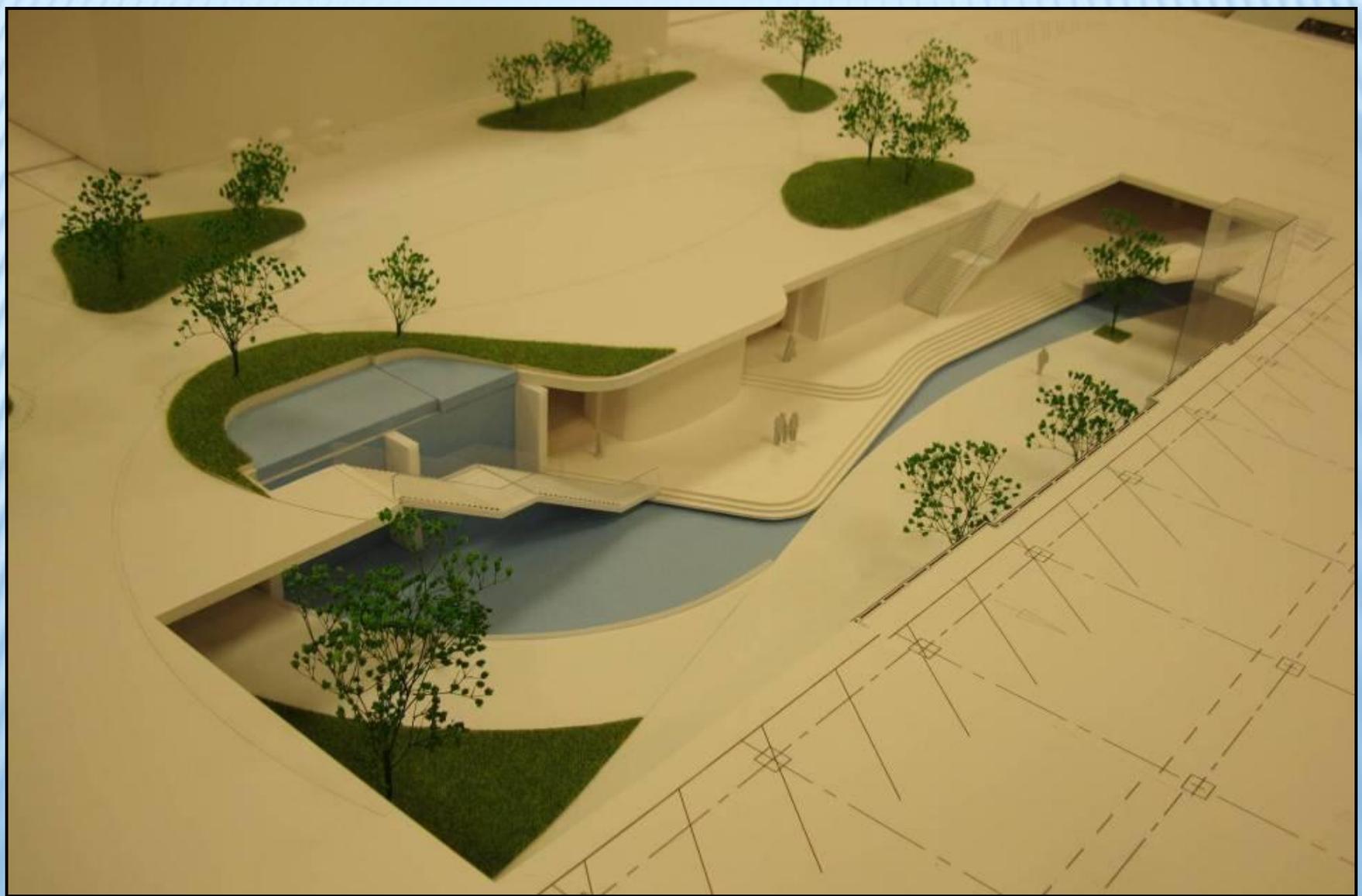


# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ Plan : A

動線により流動的な空間をつくる案

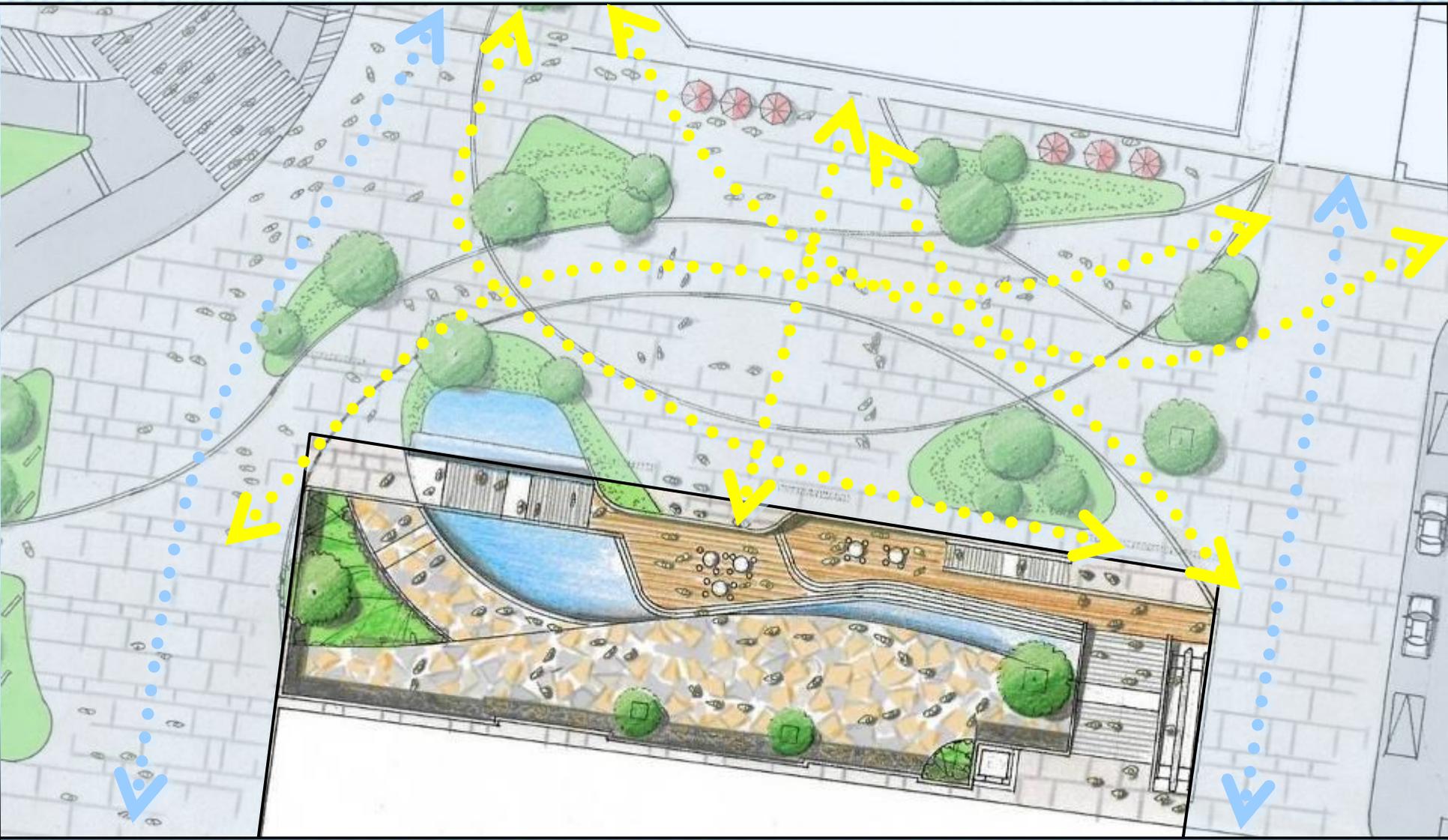


# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

◆ Plan : A

動線により流動的な空間をつくる案

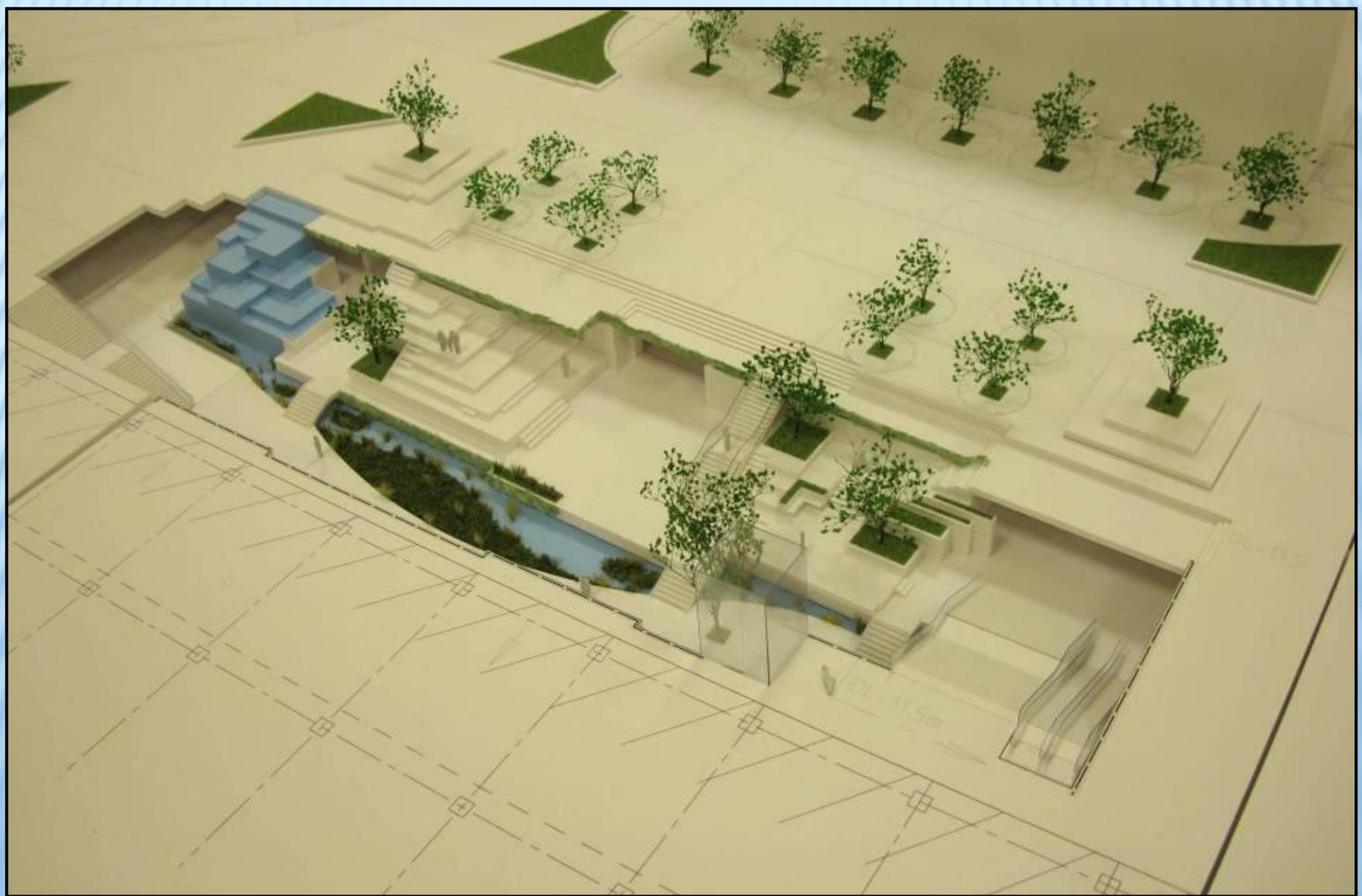


# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ Plan : B

軸性により、まとまりのある空間をつくる案



# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ Plan : B

軸性により、まとまりのある空間をつくる案

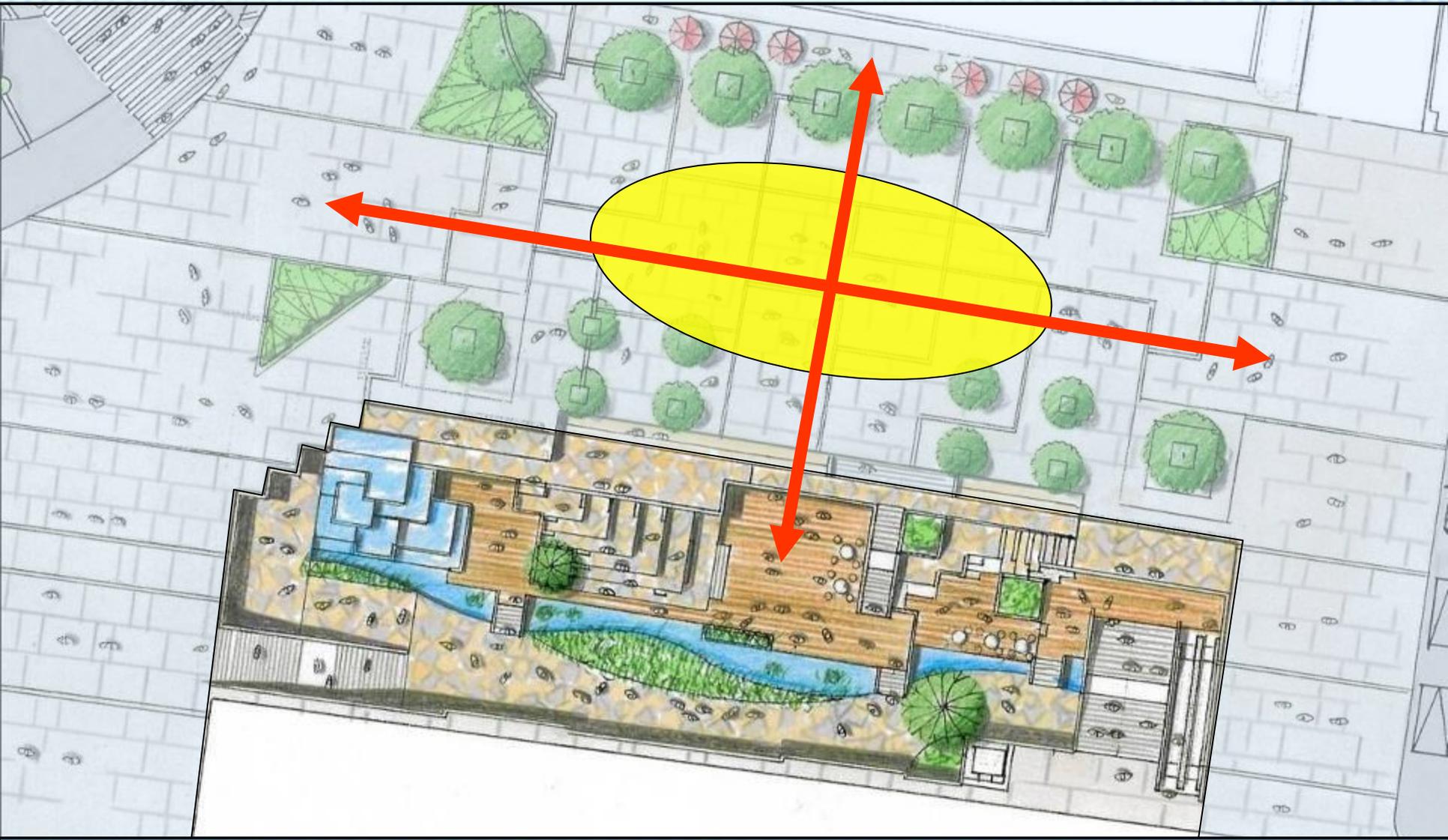


# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ Plan : B

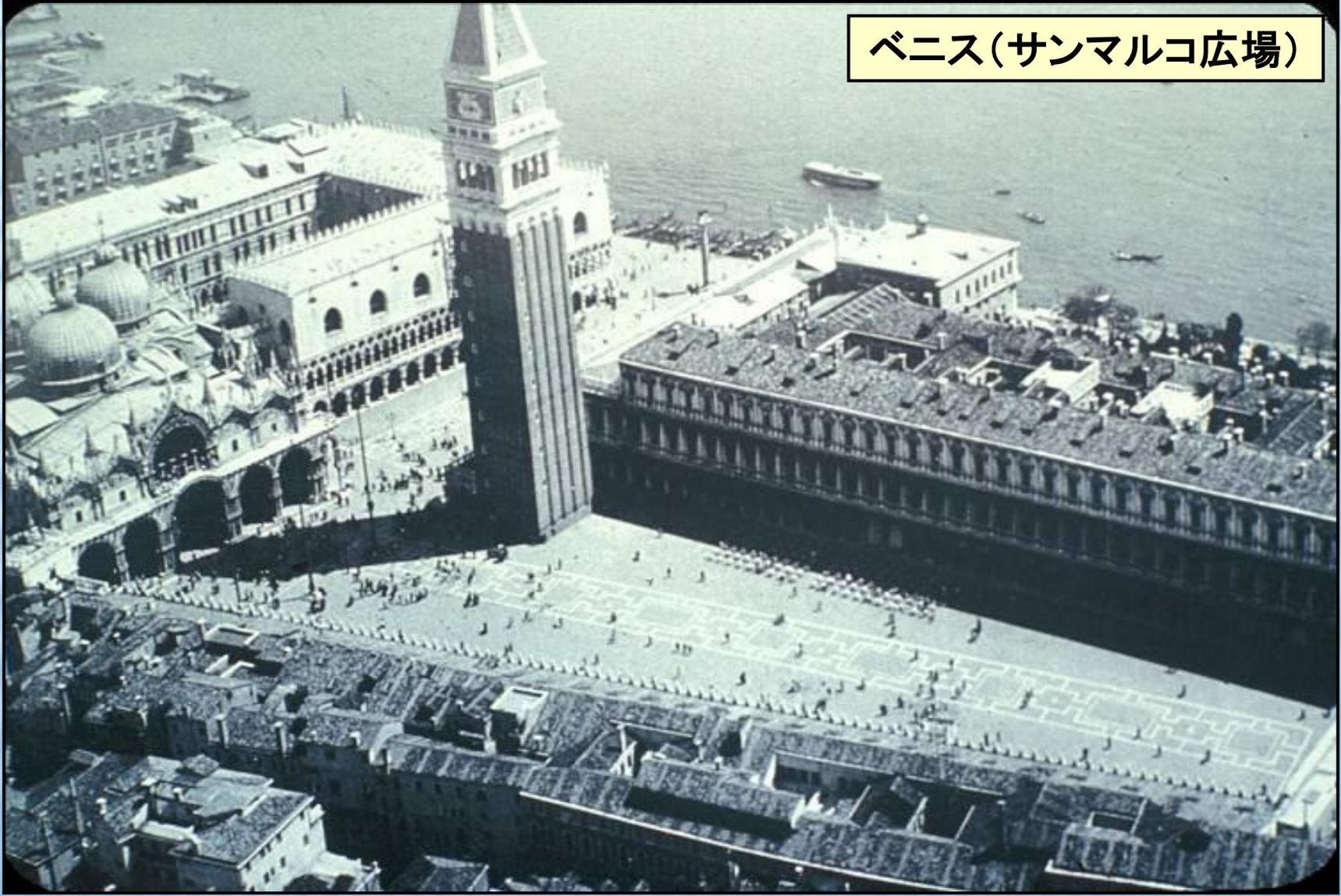
軸性により、まとまりのある空間をつくる案



# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ 軸性を表現した海外事例



ベニス(サンマルコ広場)

# ■ 地上広場のデザイン（専門家の提案）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆ 軸性を表現した海外事例



パリ(マルス広場)

## ■ 第2回専門家会議（専門家の意見）

### ◆サンクンガーデン北広場について

<p>全体のデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軸性をうまく出し、都市的な広場とするのがよい</li> <li>・ フォーマルなアクティビティも可能なデザインにしておくべき</li> <li>・ 可動式のパラソルや植栽によるフレキシブルな空間</li> <li>・ イベントがないとき 間の抜けた空間にならないようにすべき</li> <li>・ 色彩はナチュラルにし、お城が見えることを大切にすべき</li> <li>・ イベント時には、可動式パラソルなどで、彩りを添える</li> </ul>
<p>他のゾーンとの区分け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東側のロータリーとゾーニングをうまくデザインする必要がある</li> <li>・ 並木を植えたり修景を考える必要がある</li> </ul>
<p>舗装のパターン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大手前通りの舗装と一体的なデザインをすべき</li> <li>・ シンプルなデザイン</li> <li>・ 控え目なデザインをすることがポイント</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期に全体のイメージや関係性のプランニングをする必要あり</li> <li>・ 東側ロータリーに出てくるシェルターは駅まで伸延してはどうか</li> <li>・ 光熱の供給方法も検討すべき課題である</li> </ul>

# 第2回市民ワークショップの開催

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## 「姫路の顔づくり」を考える市民ワークショップ Vol.2 ～広場空間の活用方法やルールづくりについて～

### ●開催概要

日時：平成22年2月21日（日）13時～16時  
場所：姫路市役所北別館3階 講義室

### ●内容

これまでの経緯および専門家会議の意見の説明  
グループワークと発表  
【グループワーク1】

#### ★サンクンガーデンのPlanAとPlanBについて

- ・ 専門家会議の結果を踏まえた各案に対する意見集約
- ・ 使い手の視点からの意見
- ・ もっとよくするための前向きな意見集約
- ・ 広場としてどうあるべきか（デザインと使い勝手）

【グループワーク2】

#### ★広場空間の活用と管理について

- ・ 使い方
- ・ 誰が主体的に使うべきか

推進会議への報告のとりまとめ

### ●コーディネーター

小林正美（景観デザイン）明治大学

### ●参加者

市民28人（公募）



### 「姫路の顔づくり」を考える市民ワークショップ Vol.2

#### 広場空間の活用方法やルールづくりについて

姫路駅北駅前広場は、歩行者を優先した人にやさしい「くつろぎ・にぎわい」の空間を創出し、おもてなし広場として整備することとしています。

現在、広場の基本設計を行なっておりますが、その中で、施設のデザイン的な要素だけでなく、その空間をどのように使うのかについて、市民の皆様と一緒に考えながら進めることが重要であると考えています。

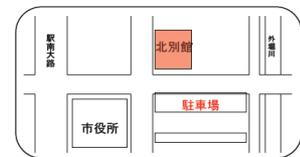
昨年12月に開催した第1回市民ワークショップでは、大手前通りの道路空間の在り方や使い方について議論して頂きましたが、第2回となる今回は「くつろぎ・にぎわい」空間とするための広場空間の活用方法や管理運営に必要となるルールづくりなどについて議論していただきたいと思っております。

市民の皆様から幅広くご意見をお聞きしながら設計を進めたいと考えておりますので、積極的なご参加をお待ちしています。

参加者募集

日時：平成22年2月21日（日）  
13時00分～16時00分

場所：姫路市役所北別館3階 講義室



内容：○これまでの経緯と専門家会議での議論の説明  
○グループワークと発表  
○取りまとめ  
コーディネーター：明治大学教授 小林正美

定員：30人（応募多数の場合は抽選※）  
申込方法：裏面の申込用紙に、住所・氏名・連絡先を記入の上、電話・FAX・メールにてお申込ください。  
参加資格：市内在住または通勤・通学での姫路駅周辺利用者  
申込期限：平成22年2月15日（月）昼12時締め切り  
※抽選結果は2月16日（火）13時以降にお知らせします。



# 第2回市民ワークショップ

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

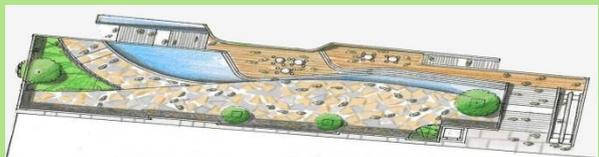
## 2月21日（日）市役所北別館講義室にて開催



# 第2回市民ワークショップ（市民の意見）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆サンクンガーデンA案・B案について

	A案	B案
		
水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスへの配慮 ⇒定期的な清掃（水が汚れるとマイナスイメージ）</li> <li>・安全、安心な利用の確保 ⇒子供が安全、安心して利用できる水深の確保</li> <li>・姫路の歴史性の継承 ⇒外濠との関連性の創出</li> </ul>	
階段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上への動線に限られる ⇒まとまった地下空間を確保できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上へのいろいろな動線がある</li> <li>・階段の多目的利用 ⇒ベンチや溜まり空間として活用可能</li> </ul>
広場・憩い空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い空間が確保できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな大きさの広場、憩い空間や待ち合わせ場所にできる</li> <li>・地上と一体的な広場であるため、人が行きやすい空間となっている</li> </ul>
壁面 （地下街の壁）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁面の活用 ⇒スクリーンとして活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁面と階段の設えに工夫がされている</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内所の設置 ⇒観光、交通等の情報発信</li> <li>・雨天時の対応 ⇒ブリッジ、庇等の設置</li> <li>・防犯、防災への対応 ⇒防犯灯等の設置</li> <li>・バリアフリーへの対応 ⇒車椅子利用者のスムーズな移動の確保</li> </ul>	

## 第4章

# サンクンガーデンと北広場のデザインの方向性

### 〈まとめ〉

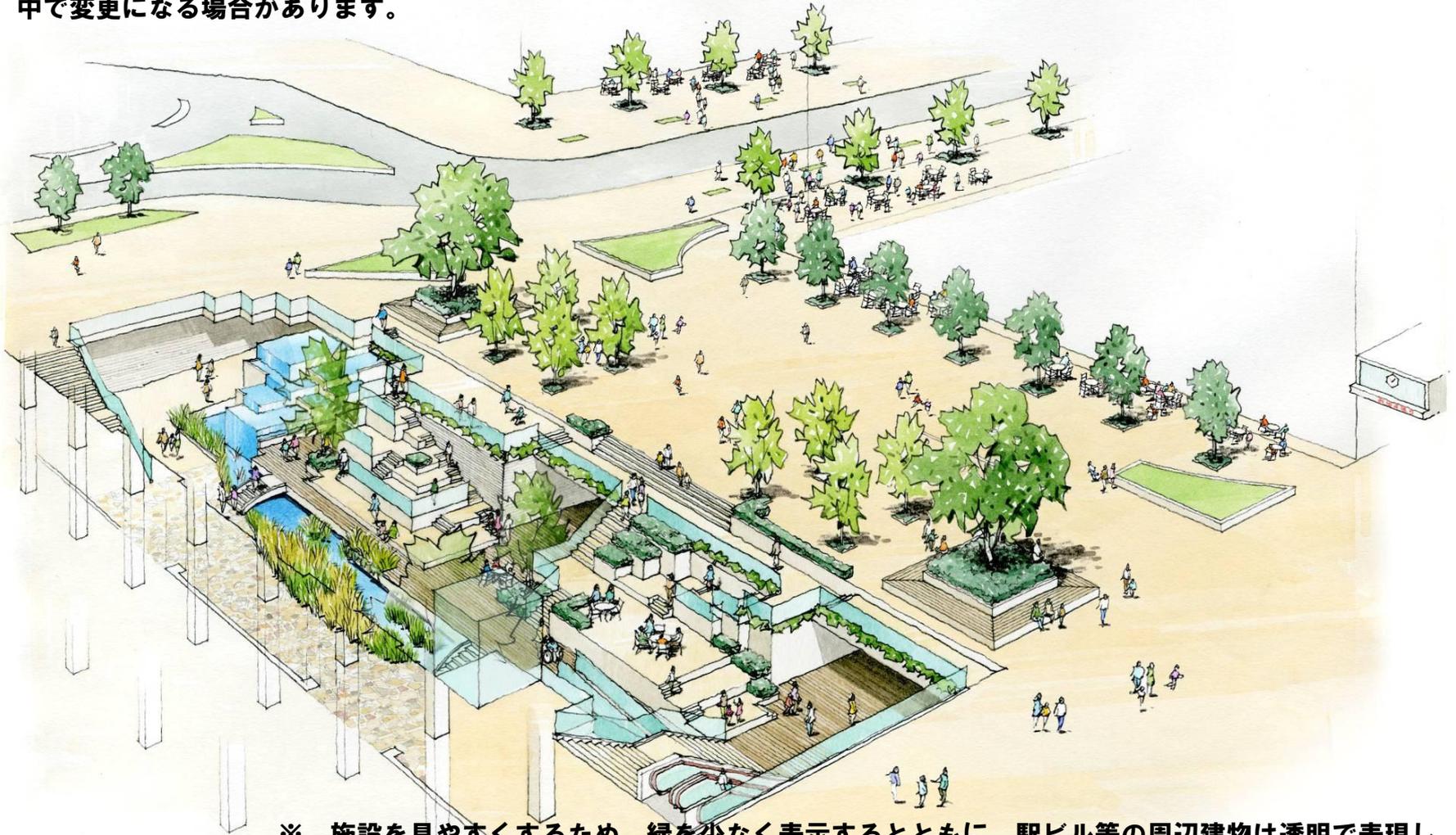
サンクンガーデンプランBを基本とする

軸性のある都市的な地上広場とする

# ■ サンクンガーデンおよび地上広場のイメージ

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

※このイメージパースは、サンクンガーデンと地上広場の一体性などの考え方を絵にしたものであり、実施設計の中で変更になる場合があります。



※ 施設を見やすくするため、緑を少なく表示するとともに、駅ビル等の周辺建物は透明で表現し、交番、休憩施設、照明、案内板等の施設は表示していません。  
なお、これらの施設は、今後実施設計を進める中で検討していきます。

## **第4章**

**サンクンガーデンなど広場空間の**

**活用と管理について**

# ■ 新たに生まれる広場空間

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



PlanB

# 第2回専門家会議（専門家の意見）

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆広場空間の活用と管理について

- 市がまず活用実績をつくるために、毎週のイベント表を埋めることから始めるのがよい
- はじめの管理者は行政だが、ガチガチのルールを使ってしまわないようにすべき

日向市駅の事例

		交流広場	野外ステージ
1月	第1週	商店街招福餅まき	
	第2週	ひまわり市	
	第3週	おまつり広場イベント	
	第4週	中学校等吹奏楽部演奏会	
2月	第1週		
	第2週	ひまわり市	社会人野球歓迎式典
	第3週	おまつり広場イベント	
	第4週	中学校等吹奏楽部演奏会	
3月	第1週		
	第2週	ひまわり市	
	第3週	おまつり広場イベント	高校卒業生による卒業イベント
	第4週	中学校等吹奏楽部演奏会	
4月	第1週	桜まつり	
	第2週	ひまわり市	
	第3週	おまつり広場イベント	
	第4週	中学校等吹奏楽部演奏会	
5月	第1週	GWイベント	
	第2週	ひまわり市	
	第3週	おまつり広場イベント	
	第4週	中学校等吹奏楽部演奏会	
6月	第1週		
	第2週	ひまわり市	
	第3週	おまつり広場イベント	
	第4週	中学校等吹奏楽部演奏会	



## ◆広場空間の活用と管理について

- 自発的な活用がしめ出される場合が多い(ミュージック、飲食など)ので、はじめから厳しいルールはつからない
  - 行政と市民の話し合いの中で運営を考えるべき
  - 受益者負担などのルールを明確にしていくべき
- 最終的には、公共性をもった組織による責任ある運営が大切である**



### ◆広場空間の活用と管理について

以下のステップを踏むのがリスクが少ないのではないか

①まず行政が活用事例を導くために、緩やかなルールで全体の管理運営を始める

②実証実験として様々なイベントを試み、試行錯誤の中で市民や商業者が学習経験する経過を踏む

③最終的には、面的なエリアマネジメントを手がけられる組織や人材を育てる

これらの過程の中で、行政・市民・商業者が多くの会話を重ねることが大切である

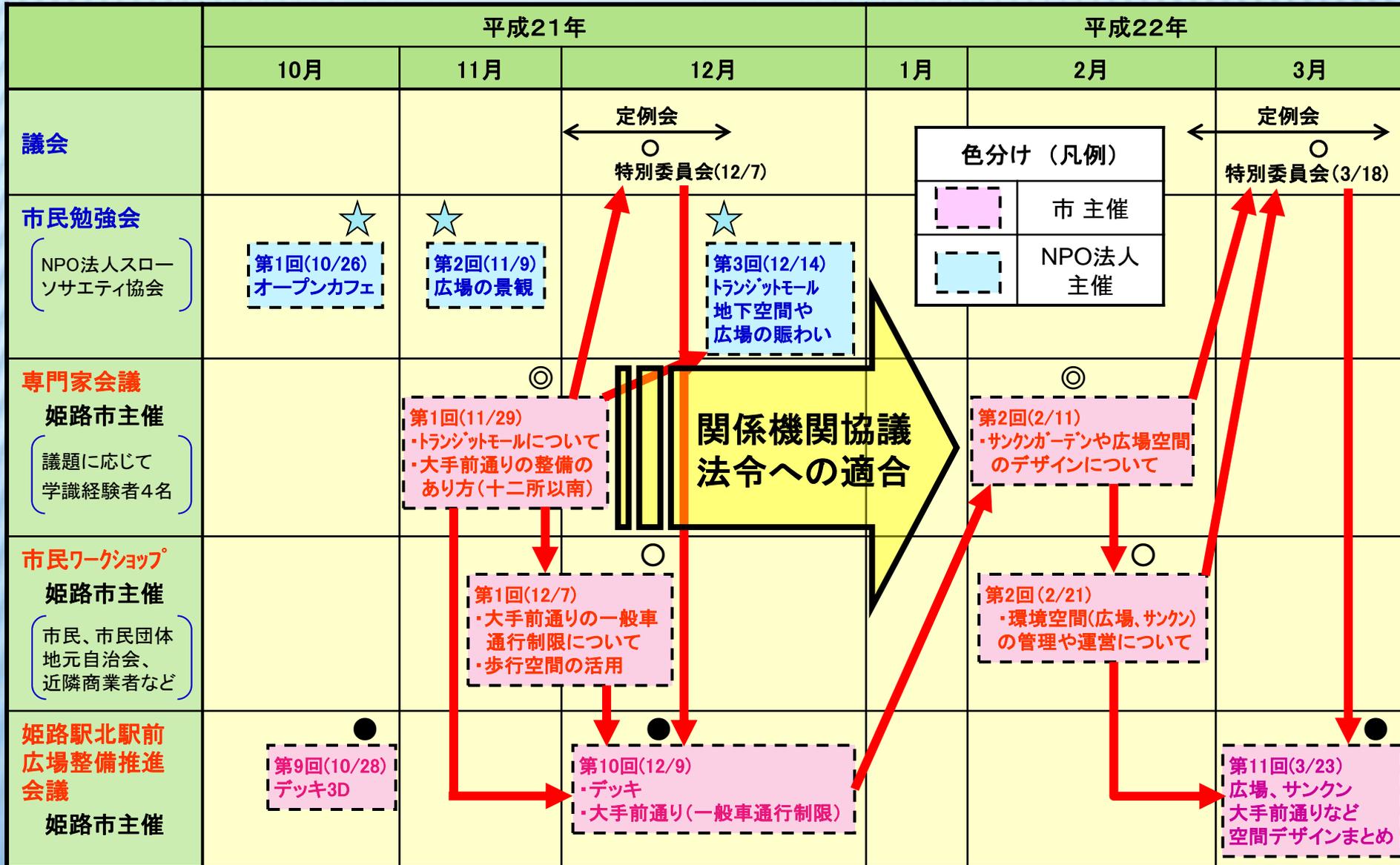
## ◆広場空間の活用と管理について

<p><b>姫路駅北駅前広場全体</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ（環境への配慮） ⇒エコイベント、エコシティを実施する場の創出</li> <li>・国際観光都市に相応しい国際性のある駅前広場づくり</li> <li>・水、緑により大手前通り・地上広場・サンクンガーデンをつなぐ</li> </ul>
<p><b>イベント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間の形状に合わせたイベント利用 ⇒長い空間、段差のある空間等に合わせた利用方法の実施 ⇒姫路らしいイベント（スポーツ）文化的・芸術的なイベントの実施</li> <li>・エコに関わるイベント実施（水、緑の活用）</li> </ul>
<p><b>運営</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を取りまとめる窓口機能（協議会）の立上げ</li> <li>・場所に応じた運営主体の確立 ⇒行政、NPO、民間等が協力して運営を実施</li> <li>・さまざまな人が平等に利用できるルールづくり（輪番制）</li> <li>・持続的な運営方法の検討 ⇒広告収入やイベント収入等、自立的に運営が可能な方法が必要</li> </ul>
<p><b>個別施設</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能的・景観的にデザインされた個別施設の設置 ⇒駐輪場、モニュメント等</li> </ul>

# 姫路駅北駅前広場基本設計

基本コンセプト：  
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

## ◆姫路駅北駅前広場基本設計スケジュール



# 全体鳥瞰図

基本コンセプト：

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

※このイメージパースは、サンクンガーデンと地上広場の一体性などの考え方を絵にしたものであり、実施設計の中で変更になる場合があります。



※ 施設を見やすくするため、緑を少なく表示するとともに、駅ビル等の周辺建物は透明で表現し、交番、休憩施設、照明、案内板等の施設は表示しておりません。  
なお、これらの施設は、今後実施設計を進める中で検討していきます。